

令和4年版

# 消防年報

第54号

磐田市消防本部

## は　じ　め　に

この消防年報は、当消防本部の現勢及び令和4年の消防業務に関する諸般の事業を集録し、今後の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集にあたり原則として暦年で表わしていますが、一部これによらないものについては、当該表にそれぞれ記載する年月日現在によるものであることを申し添えます。また、令和元年表記には一部平成31年を含みます。

令和5年6月

磐田市消防本部

# 目 次

1	沿	革	1
2	情	勢	8
3	組	織	14
4	施	設	22
5	無線・119番		27
6	火	災	36
7	救	急	40
8	救	助	45
9	気	象	50
10	予	防	53
11	消 防 団		65
12	全国統一防火標語		71

# 1 沿 革

自治体消防の沿革 2

歴代消防長 7

## 自治体消防の沿革

昭和23年	自治体消防の発足	4月	消防組織法の施行によって、これまでの警防団を廃止し、23分団、1,123人の団員により磐田市消防団が発足する。
	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第186号）が公布された。
	消防力	5件	普通ポンプ車5台、手挽ポンプ6台、腕用ポンプ12台。
	火災		（北井上で火災発生8棟焼失）
昭和24年	水防法公布施行	6月	水防法（法律第193号）の公布によって磐田市消防団がその活動主体となる。
	火災		無火災
昭和25年	無火災表彰	1月	国家消防庁より無火災表彰を受賞する。
	防火地域の指定	11月	中泉、見付地区の一部を防火地域又は準防火地域に指定し、防災都市造りが始まる。
	火災		無火災
昭和26年	長期無火災表彰	10月	昭和23年12月12日から昭和26年10月16日まで無火災であったことにより、県消防協会から表彰を受ける。
	火災	1件	（御殿で別珍仕上工場火災発生）
昭和27年	消防力		手挽ポンプ2台を廃止し、普通ポンプ車2台を増強する。
	火災	6件	
昭和28年	消防力		手挽ポンプ2台を廃止し、普通ポンプ車2台を増強、消防団の機械化を図る一方、消防団員を710人に減員する。
	火災	8件	照明車を配備する。
昭和29年	表彰	3月	「火の用心」三唱で代表され、火災予防に功績のあった佐藤六平翁が、藍綬褒賞を受賞する。
	「火の用心居士」		
	火災	9件	
昭和30年	合併	1月	南御厨村、御厨村、向笠村、大藤村の合併により、41分団1,304人の団員となる。
	表彰	3月	日本消防協会より優良消防団として表彰される。
	再編成（合併）	4月	長野村の合併により、消防団を再編成し、24分団747人の団員となる。
	消防力		腕用ポンプ9台を廃止し、手挽ポンプ9台、普通ポンプ車1台を増強する。
	表彰	12月	初代消防団長山田晋一氏が、黄綬褒章を受章する。
	火災	4件	
昭和31年	合併	1月	岩田村の合併により、26分団841の団員となる。手挽ポンプ2台増強する。
	火災	6件	
昭和32年	合併	1月	田原村の合併により、26分団872人の団員となる。
	消防力	9月	於保村の合併により、28分団886人の団員となる。
	火災	7件	手挽ポンプ10台を廃止し、三輪ポンプ車4台、普通ポンプ車8台を増強する。
			（西新町で別珍仕上工場火災発生）
昭和33年	台風災害に応援出動	9月	伊豆・狩野川台風災害に消防団員を派遣する。
	消防団常備部が発足	10月	磐田市消防団常備部が15人の部員と消防タンク車1台をもって発足する。
	火災	12件	（二之宮の化学工場火災に常備部が初出動）
昭和34年	消防庁舎落成	4月	磐田市中泉112番地の4に消防庁舎が完成し、消防団常備部を移設する。
	磐田市消防本部発足	5月	磐田市消防本部を設置する。
	県消防ポンプ操法大会	8月	磐田市消防団は静岡県消防ポンプ操法大会に優勝し、中部七県大会に出場する。
	危険物規制始まる	9月	危険物規制に関する政令が施行される。
	消防団常備部の増強	10月	常備部員を26人に増員し、2隊出動体制となる。
	火災	19件	（方正寺で火災が発生し、8世帯33人が罹災する。）
昭和35年	危険物取扱者試験開始	2月	県下統一の危険物取扱者試験制度が発足する。
	磐田市消防署発足	4月	消防団常備部を磐田市消防署に組織替える。
	消防力		腕用ポンプすべてを廃止する。
	表彰	12月	「火の用心」だるまを描いて防火普及に献身した佐藤六平翁が、従六位勲六等瑞宝章に輝く。
	火災	37件	（焼死者3人を記録する。）
昭和36年	消防設備設置規制開始	4月	消防法施行令及び規則が施行され、建築物への消防設備が義務づけられる。防火管理者制度が発足する。
	消防通信	5月	消防署に中短波無線局を開局する。
	気象観測	6月	消防署に気象観測機器を設置し観測を始める。
	消防力		照明車及び手挽ポンプ5台を廃止し、三輪ポンプ車5台、普通ポンプ車18台の団編成を行う。
	火災	56件	
昭和37年	消防力の増強		油火災に備え、簡易化学車を消防署に配備する。
	火災	74件	（火災が急増する。）
昭和38年	119番	2月	電話が自動ダイヤル式となり、緊急通報(119)態勢が確立する。
	火災	49件	（東町駅前火災発生。）
昭和39年	指令車配備	5月	消防本部に指令車を配備する。
	火災	36件	（中町でアパート火災発生、22人が罹災する。）
昭和40年	消防団再編成	4月	団活動の合理化を目的に組織を再編成し、9分団、21部、675人の団員とする。
	危険物安全協会発足	9月	磐田市危険物安全協会が組織される。
	少年消防クラブ発足	10月	磐田北小学校に少年消防クラブが誕生し、児童による火災予防活動が始まる。
	火災	46件	（栄町で酒造工場火災発生。）
昭和41年	火災	38件	（二之宮で染色工場火災発生。）
昭和42年	消防通信の強化	5月	中短波無線局を廃局し、さらに高性能な超短波無線局を開局する。
	火災	53件	
昭和43年	救急業務	1月	消防署において救急業務を開始する。
	消防団員定数	4月	磐田市消防団員定数を587人とする。
	少年消防クラブ	5月	磐田中部小学校・磐田南小学校に少年消防クラブが結成される。
	火災	46件	
昭和44年	少年消防クラブ	4月	磐田西小学校に少年消防クラブが結成される。
	火災	49件	（豊島で顔料工場火災発生。）
昭和45年	消防組合の発足	4月	磐田市・福田町・竜洋町・豊田村により磐田市外3町村消防組合を発足させる。
	表彰	11月	磐田市中泉112番地の4に磐田消防本部、磐田消防署を設置し、定員73人とする。
	火災	70件	磐田市消防団副団長として功績があった清水喜多郎氏が、勲七等瑞宝章に輝く。
昭和46年	分遣所の開設	4月	磐田郡福田町一色15番地に磐田消防署南部分遣所を磐田郡豊田村森岡128番地に磐田消防署北部分遣所を開設し、組合消防としての広域態勢が整う。
	表彰	11月	磐田市消防団副団長としての功績があった鈴木幸太郎氏が、勲六等単光旭日章に輝く。
	火災	88件	（二之宮で別珍仕上工場火災が発生し、出場途上の消防車両が横転し、団員3人が殉職する。）
昭和47年	消防力	3月	磐田消防署に梯子車及び化学消防車を配備する。
	救助隊発足	4月	磐田消防署に特殊災害に備えて救助隊を発足させ、訓練を開始する。
	消防職員定数		消防職員定数を85人に増員する。
	火災	87件	（城山中学校で火災発生、校舎1棟を焼失する。）

昭和48年	組合名称の変更 豊岡分遣所の開設 火 災	4月 12月 124件	豊岡村の加入に伴い、組合名称を磐田市外4町村消防組合と変更する。 磐田郡豊岡村上神増1017番地の5に磐田消防署豊岡分遣所を開設し、救急業務を開始する。 (石原町で大火災発生、24世帯、71人が罹災する。)枯草火災が急増し、枯草対策始まる。
昭和49年	消防力 七夕豪雨 消防職員定数 火 災	1月 7月 11月 130件	磐田消防署に救助工作車を配備する。 台風8号及び梅雨前線による大雨災害が発生し、太田川流域地区に大きな被害が出る。 豊岡分遣所に消防ポンプ車を配備する。 消防職員定数を90人に増員する。
昭和50年	優良消防団表彰 集中豪雨災害発生 表 彰 火 災	3月 10月 11月 99件	磐田市消防団が、消防庁長官表彰を受賞する。 低気圧・前線による大雨災害が発生し、見付・中泉地区に大きな被害が出る。 消防機械、器具の考案等に功績があった匂坂栄吉氏が勲七等青色桐葉章に輝く。
昭和51年	消防団車両に無線機 大雨災害発生 県総合防災訓練実施 表 彰 火 災	3月 7月 10月 103件	磐田市、福田町、竜洋町、豊田町の消防団車両に消防無線を開局し、消防通信の整備を図る。 伊豆半島を中心とする静岡県地方の大雨災害が発生し、管内各地にも被害が出る。 静岡県総合防災訓練を静岡大学農学部跡地を主会場に市内9会場で実施する。 磐田南小学校少年消防クラブが全国表彰を受賞する。 (西貝塚のプラスチック工場で倉庫火災発生。)
昭和52年	無線設備増強 消防団再編成 地震対策始まる 耐震自動消火装置設置義務化 消防職員定数 火 災	3月 4月 10月 100件	個別呼出装置を磐田市と磐田市消防団及び消防署に配備し、災害時の通信網の確保を図る。 福田町消防団が団活動の合理化を目的に組織を再編成し、8分団制から9分団制に編成替える。 東海大地震の発生が指摘され各種地震対策が始まる。 1 自主防災組織の育成 2 井戸水の検査 3 耐震性防火水槽の設置 4 被害想定作成 5 小型ポンプ、発電機及びろ水機等の配備 6 呼出装置付無線機の設置 石油ストーブに対震自動消火装置の設置が義務づけられる。 消防職員定数を100人に増員する。
昭和53年	竜洋分遣所の開設 消防職員定数 火 災	10月 139件	磐田郡竜洋町平間1274番地の120に磐田消防署竜洋分遣所を開設し、消防業務を開始、南部地区の整備を図る。 消防職員定数を110人に増員する。
昭和54年	地震防災訓練 福田分遣所用地購入 火 災	11月 12月 110件	東海大地震を想定し、地震防災訓練を実施する。 竜洋分遣所の開設に伴う福田分遣所の移転用地を購入し、移転準備に入る。
昭和55年	表 彰 婦人防災クラブ結成 福田分遣所移転完了 消防職員定数 火 災	3月 9月 11月 12月 94件	磐田中部小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰を受賞する。 消防機械の整備に尽力した功績により、磐田信用金庫が、紺綬褒章を受賞する。 「防火意識の啓蒙を家庭から」と、婦人防災クラブが大藤・上大原地区に結成される。 磐田郡福田町福田2483番地に磐田消防署福田分遣所を移転、南部地区の消防施設整備を図る。 消防職員定数を125人に増員する。
昭和56年	表 彰 婦人防火クラブ結成 表 彰 分遣所開設 消防庁着舎工 火 災	3月 5月 9月 10月 12月 116件	豊岡村消防団が消防活動の努力を認められ、竿頭綬を受賞する。 磐田南小学校少年消防クラブが、消防庁長官旗表彰を受賞する。 婦人防火クラブが、竜洋町及び豊岡村に結成される。 9月 高砂香料工業㈱磐田工場が、全国危険物安全協会連合会長より優良事業所表彰を受賞する。 10月 磐田市岩井1907番地の4に、磐田消防署東部分遣所を開設する。 12月 磐田市西貝塚今之浦2668番地の1で、磐田消防本部及び消防署の庁舎建設に着手する。
昭和57年	鼓笛隊発足 表 彰 消防庁舎落成 婦人連絡会発足 火 災	1月 3月 10月 12月 92件	磐田西小学校少年消防クラブに鼓笛隊が発足する。 磐田北小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰を受賞する。 磐田市今之浦二丁目14番地の2に磐田消防庁舎が完成し、業務を開始する。 磐田地区婦人防災クラブ連絡会が発足する。 磐田地区少年消防クラブ運営指導協議会が発足する。 (富士見町で旅館火災発生。)
昭和58年	鼓笛隊発足 表 彰 消防職員定数 組合章制定 訓練場用地購入 火 災	1月 3月 3月 4月 10月 11月 88件	竜洋西小学校少年消防クラブに鼓笛隊が発足する。 豊田町消防団が消防活動の努力を認められ、竿頭綬を受賞する。 豊岡村消防団が、日本消防協会の表彰旗を受賞する。 磐田中部小学校少年消防クラブが、消防庁長官旗表彰を受賞する。 消防職員定数を140人に増員する。 組合を象徴するマークを一般から募集し、100点余の応募作品から河島貞子さんの作品が選ばれる。 磐田消防庁舎南側に訓練場用地を購入する。
昭和59年	土地売却 防火委員会発足 意見発表会 表 彰 火 災	1月 4月 11月 130件	旧福田分遣所跡地を売却する。 磐田地区少年・婦人防火委員会が発足する。 第1回消防職員意見発表会を開催する。 磐田危険物安全協会が設立20年を迎え、全国会長表彰を受賞する。協会章を設定する。
昭和60年	表 彰 婦人防災(防火)クラブ発足 危険物安全協会 消防団県査閲大会 意見発表会 火 災	2月 3月 6月 7月 8月 11月 99件	豊田町消防団が、日本消防協会の表彰旗を受賞する。 竜洋町消防団が、消防活動の努力を認められて竿頭綬を受賞する。 磐田北小学校少年消防クラブが、消防庁長官旗表彰を受賞する。 婦人防災(防火)クラブが磐田市長野地区(6月)岩田地区(7月)及び福田町(8月)に結成される。 磐田危険物安全協会設立20周年に記念誌を発行する。 静岡県消防査閲大会において、豊田町消防団が小型ポンプ操法、豊岡村消防団が訓練礼式でともに準優勝する。 第2回消防職員意見発表会を開催する。 (竜洋町のフェルト製造工場で建物1,675㎡を焼失する。)
昭和61年	豊田分遣所用地購入 組合管理者 県高圧ガス訓練実施 表 彰 火 災	8月 10月 11月 92件	豊田町森岡に豊田分遣所の移転用地を購入する。 組合管理者磐田市長山内克己氏退任する。 磐田市長神谷明氏組合管理者として就任する。 「昭和61年度高圧ガス、危険物防災訓練」を豊田町森岡地先天竜川左岸河川敷で実施する。 田原小学校少年消防クラブが、静岡県知事褒賞を受賞する。
昭和62年	表 彰 火 災	3月 78件	豊田町消防団が、消防庁長官から竿頭綬を受賞する。

昭和63年	分遣所用地造成 分遣所車庫増築 表彰 婦人防火クラブ結成 火災	1月 3月 6月 74件	豊田分遣所移転用地を造成する。 竜洋分遣所の車庫を増築する。 福田小学校少年消防クラブが消防庁長官表彰と楯を受賞する。 婦人防火クラブが豊田町に結成される。
平成元年	表彰 豊田分遣所移転完了 表彰 消防団県査閲大会 火災	2月 3月 8月 77件	竜洋町消防団が、日本消防協会の表彰旗を受賞する。 磐田郡豊田町森岡119の1番地に磐田市消防署豊田分遣所を移転、消防施設設備を図る。 静岡東部小学校が、消防庁長官表彰を受賞する。 静岡県消防団査閲大会において、小型ポンプ操法で豊田町消防団が優勝する。 (磐田市中泉地区で連続火災発生。)
平成2年	消防団再編成 消防職員定数 全国婦人消防操法大会 火災	4月 10月 73件	豊田町消防団が団活動の合理化を目的に組織を再編成し、3分団制から4分団制へ編成替える。 消防職員定数を142人に増員する。 豊田町婦人消防隊が第6回全国婦人消防操法大会へ出場する。
平成3年	表彰 消防団再編成 豊岡分遣所用地購入 火災	3月 4月 12月 68件	大藤小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰を受賞する。 豊岡村消防団が団活動の合理化を目的に組織を再編成し、7分団、3自動車部制から5分団制へ編成替える。 豊岡村合代島に豊岡分遣所の移転用地を購入する。 (豊田町池田の火災により、15世帯44人が罹災。)
平成4年	表彰 消防職員定数 表彰 火災	2月 3月 4月 11月 94件	豊田町婦人消防隊が、日本消防協会の表彰旗を受賞する。 福田町消防団が、日本消防協会の竿頭綬を受賞する。 消防職員定数を145人に増員する。 竜洋東小学校少年消防クラブが、静岡県知事褒賞を受賞する。
平成5年	表彰 分遣所用地造成 消防団県査閲大会 記念大会 表彰 火災	3月 8月 11月 110件	豊田町消防団が、消防庁長官表彰旗を受賞する。 豊岡分遣所の移転用地を造成する。 静岡県消防団査閲大会において、ポンプ車操法で竜洋町消防団が準優勝する。 自治体消防45周年記念大会が東京ドームで開催され、警周支部管内の消防長、団長、副団長、本部役員が出席する。 青城小学校少年消防クラブが、静岡県知事褒賞を受賞する。
平成6年	豊岡分遣所移転完了 表彰 消防職員定数 組合管理者 火災	3月 4月 8月 92件	磐田郡豊岡村合代島438の1番地に磐田消防署豊岡分遣所を移転、消防施設整備を図る。 岩田小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と楯を受賞する。 消防職員定数を163人に増員する。 組合管理者磐田市長神谷明氏退任する。 磐田市長山下重氏組合管理者として就任する。
平成7年	通信指令装置の強化 静岡県総合防火訓練 表彰 火災	4月 9月 11月 137件	消防緊急通信指令施設を更新する。 磐田市会場をメイン会場とし、1市3町1村の6会場で、各地域の特色を生かした広域分散型訓練を実施する。 豊田南小学校少年消防クラブが、静岡県知事褒賞を受賞する。
平成8年	救急救命士誕生 表彰 高規格救急車整備 竜洋分遣所用地購入 火災	5月 11月 12月 150件	組合初の救急救命士が誕生する。 豊田東小学校少年消防クラブが、静岡県知事褒賞を受賞する。 大藤婦人防災クラブが、日本防火協会会長定例表彰優良婦人防火クラブとして全国表彰を受賞する。 磐田消防署に高規格救急車を配備する。 竜洋町白羽に竜洋分遣所の移転用地を購入する。
平成9年	表彰 消防団県査閲大会 火災	3月 8月 11月 175件	東部小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 静岡県消防団査閲大会において、ポンプ車操法で福田町消防団が優勝し、全国大会に出場する。 婦人防火クラブ指導者(三浦 巖さん)が、静岡県防火功労者等表彰を受賞する。
平成10年	竜洋分遣所移転完了 表彰 組合名称の変更 消防職員定数 磐田市婦人消防隊結成 車両 組合管理者 表彰 火災	3月 4月 7月 8月 11月 90件	磐田郡竜洋町白羽698の1番地に磐田消防署竜洋分遣所を移転、消防施設整備を図る。 自治体消防制度50周年式典に伴う表彰を田原小学校少年消防クラブ、上大原婦人防災クラブが受賞する。 磐田西小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 構成市町村が同一となった磐南厚生施設組合と統合し、磐南行政組合に名称を変更する。 消防職員定数を173人に増員する。 上大原婦人防災クラブを母体に、隊員10人にて磐田市婦人消防隊を結成する。 人員搬送車を配備する。 組合管理者磐田市長山下重氏退任する。 磐田市長鈴木望氏組合管理者として就任する。 少年消防クラブ指導者(藤原マサ子さん)が、静岡県防火功労者表彰を受賞する。
平成11年	化学消防車更新 東名高速道路消防救急業務の開始 磐田市婦人消防隊 全国婦人操法大会出場 表彰 火災	1月 4月 10月 11月 113件	化学消防車(71号)1台を更新し本署へ配備する。 東名高速道路磐田インターチェンジ開通に伴い、東名高速道路内での消防救急業務を開始する。 磐田市婦人消防隊が、第14回全国婦人消防操法大会にて取調賞を受賞する。 少年消防クラブ指導者(大村 重雄さん)が、静岡県防火功労者表彰を受賞する。 豊岡婦人防火クラブが、日本防火協会会長定例表彰優良婦人防火クラブとして全国表彰を受賞する。
平成12年	表彰 火災	10月 113件	岩田婦人防災クラブが、静岡県知事褒賞を受賞する。 青城小学校(斎藤 真輝さん)が、優秀防火ポスター銀賞を受賞する。
平成13年	表彰 消防職員定数 福田分遣所用地購入 指令車配備 消防団県査閲大会 表彰 火災	3月 4月 6月 7月 8月 10月 87件	福田小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 消防職員定数を210人(10年計画)に増員する。 福田町南島に福田分遣所の移転用地を購入する。 指令車(54号)1台を本部に配備する。 県査閲大会において、小型ポンプ車操法で磐田市消防団が準優勝する。 福田町婦人防火クラブが静岡県知事褒賞を受賞する。
平成14年	消防ポンプ自動車更新 表彰 火災	1月 3月 3月 10月 111件	消防ポンプ自動車(1号)1台更新し本署へ配備する。 東部小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 向笠小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 豊田町女性防災クラブが静岡県知事褒賞を受賞する。

平成15年	表彰 福田分遣所移転完了 火災	3月 5月 80件	大藤小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 豊浜小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 磐田郡福田町南島237番地に磐田消防署福田分遣所を移転、消防施設整備を図る。
平成16年	表彰 水難救助潜水活動要領施行 火災	3月 8月 75件	岩田小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 豊田北部小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 磐田消防署水難救助潜水活動要領の施行に伴い、水難救助事案における救助業務の拡大を図る。
平成17年	表彰 化学消防車更新 名称の変更 消防団再編成 火災	3月 3月 4月 89件	竜洋西小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 長野小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 化学消防車(72号)1台を更新し東部分遣所へ配備する。 市町村合併により磐南行政組合を解散し、磐田市消防本部として磐田市に組織される。 市町村合併により各市町村消防団が統合し、磐田市消防団として団員総数1,367人の1団本部、7方面隊、45分団に再編成される。
平成18年	表彰 女性消防職員の採用 火災	3月 4月 78件	向笠小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 田原小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 女性消防職員1人を採用する。 (宮本の木材加工工場で建物3,788㎡を焼失する。)
平成19年	水槽付き消防ポンプ自動車 表彰 救急車更新 火災	2月 3月 12月 97件	水槽付き消防ポンプ自動車(85号)1台を更新し豊田へ配備する。 豊浜小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 豊岡東小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 高規格救急自動車1台(救急5)を更新し、豊田分遣所へ配備する。 (大楽地の鶏舎749㎡を焼失する。)
平成20年	表彰 災害機動支援車新規配備 火災	3月 70件	豊田北部小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 富士見小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 株式会社タカギセイコーから寄付を受け災害機動支援車を本署へ配備する。
平成21年	表彰 資機材搬送車更新 消防イメージキャラクター誕生 駿河湾を震源とする地震が発生 救急車更新 火災	3月 6月 8月 11月 61件	長野小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 豊岡南小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 資機材搬送車(95号車)1台を豊田分遣所へ配備する。 消防常備化50周年を記念し、イメージキャラクター(愛称:べっくん)が誕生する。 市内で震度5弱を観測、重傷者1名、住家の一部損壊20棟など各地で被害が発生する。 高規格救急自動車1台(救急3)を更新し、福田分遣所へ配備する。
平成22年	表彰 救急車更新 火災	1月 3月 4月 55件	磐田市消防団協業事業所表示制度の制定に伴い、NTN(株)磐田製作所、スズキ(株)磐田工場、ヤマハ発動機(株)、遠州中央農業協同組合、竜洋環境創造(株)を認定する。 田原小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 豊岡北小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 高規格救急自動車(救急6号車)1台を更新し、豊岡分遣所へ配備する。 旧磐田市消防団長として功績のあった星野勝氏が、瑞宝双光章を受賞する。
平成23年	表彰 東日本大震災 救急車更新 消防団女性隊 火災	1月 3月 4月 84件	磐田市消防団協業事業所に、天竜木材(株)天竜工場、(株)浜松ホトニクス豊岡製作所、東海精機(株)を認定する。 豊岡東小学校少年消防クラブが消防庁長官表彰(旗)を受賞する。 竜洋東小学校少年消防クラブが消防庁長官表彰(楯)を受賞する。 3月11日に発生した東日本大震災の被災地である福島県へ、緊急消防援助隊(静岡県隊)として震災当日から4月1日まで、派遣期間34日間、第1次隊から第7次隊まで27隊延べ363人を派遣する。 高規格救急自動車(救急8号車)の車体が一般社団法人日本自動車工業会から寄贈され、竜洋分遣所へ配備する。 4月1日より磐田市消防団に初めて女性消防団員が入団し、女性隊(実員13人)として活動を開始する。
平成24年	表彰 水槽付き消防ポンプ自動車更新 救急車更新 消防本部移転 中東遠消防指令センターの開設 静岡県総合防火訓練 火災	1月 2月 3月 4月 4月 9月 63件	磐田市消防団協業事業所に、(株)ブリヂストン磐田工場を認定する。 水槽付き消防ポンプ自動車(86号車)1台を更新し、豊岡分遣所へ配備する。 富士見小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 青城小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 高規格救急自動車(救急2号車)の車体が全国共済農業協同組合連合会静岡県本部から寄贈され、東部分遣所へ配備する。 消防本部を磐田市今之浦から磐田市福田の磐田市福田支所内へ移転する。 磐田市、掛川市、御前崎市、菊川市及び袋井市森町広域行政組合が中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会を設置し、磐田市福田支所内に中東遠消防指令センターを開設する。 静岡県総合防災訓練が磐田市で開催される。
平成25年	表彰 大型水槽車新規配備 火災	3月 59件	豊岡南小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 竜洋北小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 大型水槽車(21号車)1台を本署へ配備する。
平成26年	はしご付消防自動車更新 表彰 救急車更新 消防団再編 救助隊規定変更 緊急消防援助隊ブロック訓練 火災	1月 3月 4月 11月 50件	はしご付消防自動車(31号車)1台を更新し、本署へ配備する。 豊岡北小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰旗を受賞する。 豊田南小学校少年消防クラブが、消防庁長官表彰と表彰楯を受賞する。 高規格救急自動車(救急1号車)1台を更新し、本署へ配備する。 磐田市消防団が、活動の合理化を目的に再編成し、45分団制から28分団制に編成替える。 磐田市消防署救助隊規程の一部改正により、救助隊を特別救助隊とする。 緊急消防援助隊関東ブロック訓練が西部地区で開催され、磐田市は、サブ会場となる。
平成27年	表彰 水槽付き消防ポンプ自動車更新 火災	3月 41件	竜洋東小学校少年消防クラブが、総務大臣表彰と表彰旗を受賞する。 水槽付き消防ポンプ自動車(83号車)1台を更新し、福田分遣所へ配備する。
平成28年	表彰 無線整備 潜水活動要領変更 火災	3月 4月 61件	青城小学校少年消防クラブが、総務大臣表彰と表彰旗を受賞する。 消防救急無線をデジタル化し、運用開始。 磐田市消防署救助規程に定める潜水活動要領を、水難救助業務実施要綱に改める。
平成29年	化学消防車更新 表彰 水槽付き消防ポンプ自動車更新 指揮車更新 水難救助隊施行変更 火災	1月 3月 4月 44件	化学消防車(71号車)1台を更新し、本署へ配備する。 豊田南小学校少年消防クラブが、総務大臣表彰と表彰旗を受賞する。 水槽付き消防ポンプ自動車(84号車)1台を更新し、竜洋分遣所へ配備する。 指揮車(53号車)1台を更新し、本署へ配備する。 磐田市消防署救助規程に定める水難救助業務実施要綱を、水難救助業務実施要綱に変更する。



平成30年	表彰 救急車更新 緊急消防援助隊ブロック訓練 火災	3月 11月 53件	豊田東小学校少年消防クラブが、総務大臣表彰と表彰旗を受賞する。 高規格救急自動車（救急3・救急5）2台を更新し、福田分遣所及び豊田分遣所へ配備する。 緊急消防援助隊中部ブロック訓練が静岡空港をメイン会場として開催される。（西部地区担当）
令和元年	救急車更新 火災調査車 磐田市消防団女性隊 火災	1月 2月 11月 52件	高規格救急自動車（救急4号車）1台を更新し、竜洋分遣所へ配備する。 高規格救急自動車（救急7号車）1台を増車し、本署へ配備する。 61号車を更新し、本部へ配備する。 第24回全国女性消防操法大会に出場、敢闘賞を受賞する。
令和2年	救助工作車更新 事務連絡車 火災	2月 8月 32件	救助工作車（41号車）1台を更新し、本署へ配備する。 資機材搬送車（94号車）1台を消防署へ配備する。
令和3年	救急車更新 熱海市伊豆山土石流災害 水害救助支援ボート配備 火災	2月 7月 10月 37件	高規格救急自動車（救急6）1台を更新し、豊岡分遣所へ配備する。 7月3日に発生した伊豆山土石流災害の被災地である静岡県熱海市へ、静岡県消防相互応援協定に基づき、発生当日から8月3日まで、派遣期間32日間、第1次隊から11次隊まで24隊延べ312人を派遣する。 浜口ウレタン株式会社からの寄贈により水害救助支援ボートを本署へ配備する。
令和4年	救急車更新 台風15号 緊急消防援助隊全国訓練 火災	3月 9月 11月 50件	災害対応特殊救急自動車（救急1号車）1台を更新し、本署へ配備する。 台風15号による豪雨により土砂崩れ・落橋・冠水等が発生し、市内全域で大きな被害が発生する。 緊急消防援助隊全国訓練が静岡空港をメイン会場として開催される。 (福田の廃プラスチック製品製造工場で建物1489㎡を焼失する。)
令和5年	救急車更新 表彰	2月	災害対応特殊救急自動車（救急2号車）1台を更新し、東部分遣所へ配備する。 磐田市消防団が、令和4年台風15号の災害対応を受け、水防功労者国土交通大臣表彰を受賞する。

# 歴 代 消 防 長

代	氏 名	在 任 期 間
初 代	太 田 清 司	昭和 34 年 5 月 26 日～昭和 38 年 3 月 31 日
第 2 代	山 内 克 巳	昭和 38 年 7 月 1 日～昭和 41 年 8 月 13 日
第 3 代	神 谷 明	昭和 41 年 11 月 8 日～昭和 49 年 3 月 31 日
第 4 代	尾 高 宗 作	昭和 49 年 4 月 1 日～昭和 52 年 3 月 31 日
第 5 代	青 島 保 一	昭和 52 年 4 月 1 日～昭和 55 年 3 月 31 日
第 6 代	山 根 進	昭和 55 年 4 月 1 日～昭和 58 年 3 月 31 日
第 7 代	鈴 木 昭 一	昭和 58 年 4 月 1 日～昭和 60 年 3 月 31 日
第 8 代	山 田 信 一	昭和 60 年 4 月 1 日～昭和 62 年 3 月 31 日
第 9 代	鈴 木 文 雄	昭和 62 年 4 月 1 日～平成 元年 3 月 31 日
第 10 代	塚 田 欽 司	平成 元年 4 月 1 日～平成 2 年 10 月 31 日
第 11 代	江 塚 重 尋	平成 2 年 11 月 1 日～平成 6 年 3 月 31 日
第 12 代	後 藤 修	平成 6 年 4 月 1 日～平成 9 年 3 月 31 日
第 13 代	袴 田 忠 雄	平成 9 年 4 月 1 日～平成 10 年 10 月 31 日
第 14 代	山 田 安 邦	平成 10 年 11 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日
第 15 代	山 下 新 一	平成 15 年 1 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日
第 16 代	高 野 守 泰	平成 16 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
第 17 代	河 島 俊 明	平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日
第 18 代	鈴 木 正 治	平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
第 19 代	鈴 木 薫	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
第 20 代	栗 倉 義 弘	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
第 21 代	山 下 重 仁	平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
第 22 代	矢 部 宏 明	平成 29 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
第 23 代	伊 藤 秀 勝	令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
第 24 代	高 尾 正 博	令和 5 年 4 月 1 日～令和 年 月 日

## 2 情 勢

磐田市消防本部のすがた	9
磐田市消防本部管内図	10
所在地	11
面積・人口・世帯数	11
消防団方面隊別の町名・人口・世帯数一覧表	12

## 磐田市消防本部のすがた

当消防本部は、静岡県西部の天竜川東岸に位置し、管内の北部は丘陵地、南部は平野が広がり遠州灘に面しています。

丘陵地帯は古くから文化が開け、石器時代の遺跡や古墳も多く、現存するだけでも500余基を数えます。

奈良時代には、遠江国の国府が置かれ、東海の雄国として特別な待遇を受け、往時の繁栄の一端を窺うものに遠江国分寺跡があり、国の「特別史跡」に指定されています。

戦国時代には武田、今川、徳川の勢力が激戦を繰り返しましたが、徳川家康が天下を統一してからは、当地の気候、風土を好み別荘（御殿）を建て、幕府直轄の天領とし別荘を代官所とし、その勢力範囲は遠江はもちろん三河、駿河、甲斐の一部にまで及びました。

交通運輸についても見付宿、天竜川の渡し場としての池田宿が東海道五十三次の宿場として街道交通の要所として繁昌したほか、海上運輸の拠点としても16世紀に開港し、その賑わいから遠州の小江戸とはやされた掛塚港と、宝永の大地震が契機となり開港した福田港があり、それぞれ江戸への商業港として繁栄を極めました。

教育文化は、全国に誇るにふさわしい水準にあり、江戸時代の教育の場であった寺は今でも百有余を数え、日本最初の図書館といわれる磐田文庫も現存します。学校づくりも明治5年の学制発布と同時に行われ、見付学校、西之島学校、坊中学校が建設され、その西洋建築は遠州の三大学校といわれましたが、残念なことに西之島学校、坊中学校は焼失し、見付学校だけが今に残り全国で最古の洋風木造校舎として磐田文庫とともに国の史跡に指定されています。

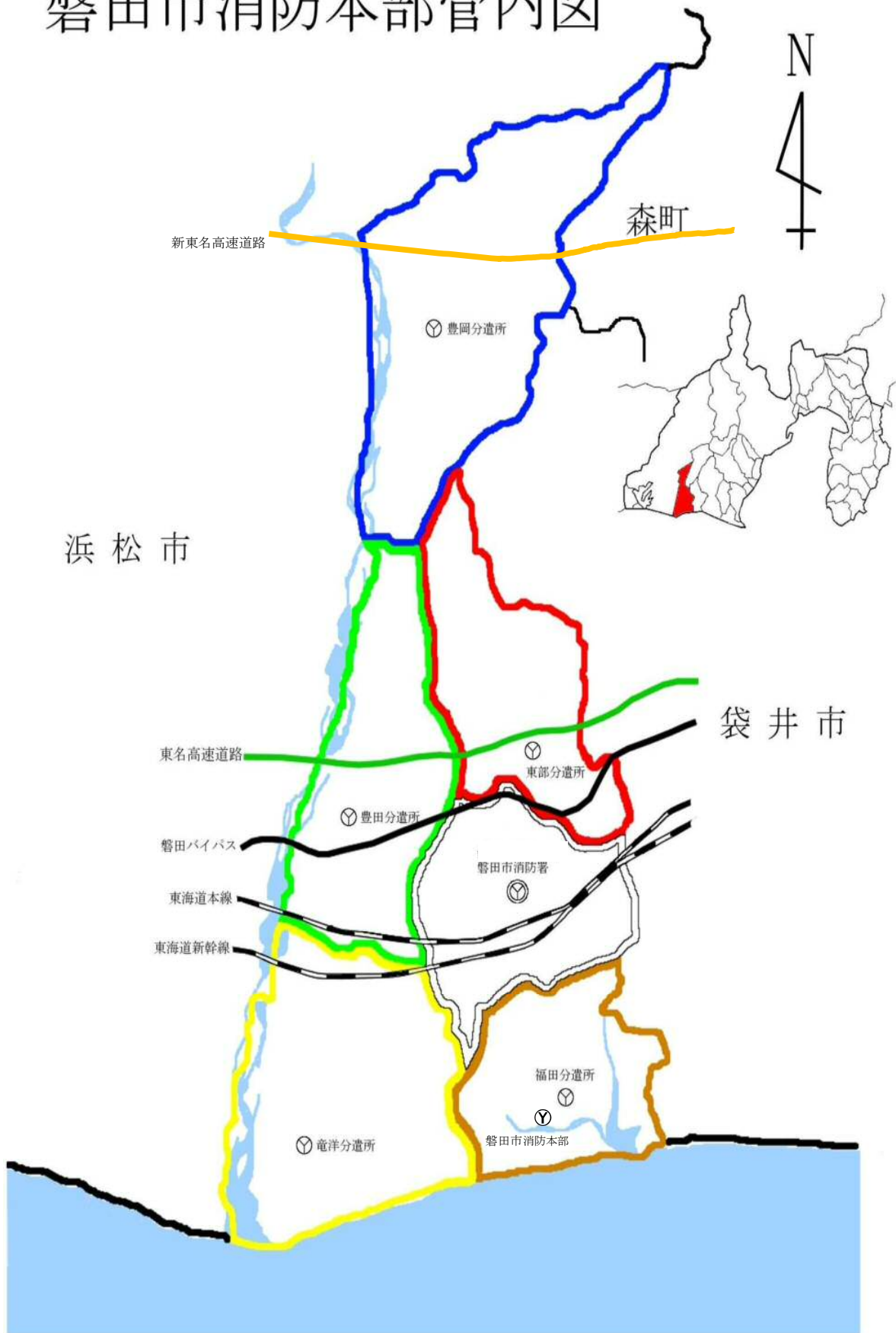
農業では、大正6年豊浜地区で油障子の囲いでキュウリ、ナスの栽培を手がけたことから始まった施設農業が農産物の王様、芸術品とまでいわれる温室メロンの生産に発展したことが特筆され、その他では天竜川沿域の海老芋、白ネギ、磐田原台地の茶、広瀬・岩田地区のイチゴ敷地地区のころ柿等が特産品としてあげられます。

一方産業は、天保2年消防法被、足袋表の専用布としての雲齊織から起こった織布工業が帆船の帆木綿、足袋底織を経て明治29年にはコール天、大正元年には別珍の製造に成功したことから一大飛躍をとげ、地場産業の柱として隆盛を極めました。

平成24年に新東名高速道路が開通し、東名高速道路、国道1号線、東海道本線、東海道新幹線などの交通体系にも恵まれ、さらには豊富な天竜川の水の恩恵を受け2大工業立地条件が満たされていることから多くの企業が活発な生産活動を行っています。

以上、当消防本部は日本のほぼ中央、太平洋の黒潮による温暖な気候、天竜の流れが築き上げた肥沃な土地、歴史と伝統を尊ぶ情緒豊かな住民性、これらを産業とうまく調和させた「まち」、これが当地の姿であると自負しています。

# 磐田市消防本部管内図



## 所 在 地

磐田市消防本部	静岡県磐田市福田400番地
磐田市消防署	静岡県磐田市今之浦二丁目14番地2
磐田市消防署東部分遣所	静岡県磐田市岩井1907番地4
磐田市消防署福田分遣所	静岡県磐田市南島237番地
磐田市消防署竜洋分遣所	静岡県磐田市白羽698番地1
磐田市消防署豊田分遣所	静岡県磐田市森岡119番地1
磐田市消防署豊岡分遣所	静岡県磐田市合代島438番地1

## 面積・人口・世帯数

(令和5年3月末現在)

面積 ( $\text{km}^2$ )	人口(人)			世帯数 (世帯)
	男	女	計	
163.45	84,678	82,697	167,375	70,706

※人口・世帯数は住民基本台帳による

## 消防団方面隊別の町名・人口・世帯数一覧表

方面隊	分団	町名	世帯数	人口
豊岡方面隊	1	神田、栗下、本村、太郎馬、田川、川原、新開、雇用促進	1,012	2,717
	2	亀井戸、大楽地、合代島上、合代島下、敷南区、敷上区、大平南、大平北、虫生、万瀬	856	2,174
	3	上神増、社山、壺貫地、中野東川原	1,113	2,990
	4	神増、惣兵衛下新田、平松、掛下、松之木島上、松之木島下、三家、下神増	983	2,784
	小計			3,964
磐田方面隊	1	笠梅、笠梅原、向笠新屋、向笠新屋原、向笠竹之内、向笠竹之内原、向笠西、向笠西原、篠原、岩井、岩井原	1,504	3,684
	2	大藤第1区～第13区、大藤団地	1,688	4,371
	3	匂坂新、匂坂中下、匂坂中上、匂坂上、匂坂上原、寺谷塚下、寺谷塚上、寺谷新田	729	1,959
	小計			3,921
豊田方面隊	1	匂坂中之郷、七蔵新田、匂坂下、中野戸、気賀西、気賀東、加茂東、加茂西、加茂川原、富里、富丘広野、富丘下原、富丘下原南、富丘原新田、東原西、東原東、高見丘	3,338	8,819
	2	上新屋、小立野、豊田西之島、源平新田、長森、森下、立野、ジエイハイム豊田、ベルメゾン豊田、森本、赤池、下本郷、上本郷、ジエイハイム豊田本郷	4,155	9,853
	3	池田上、池田藤美、池田中、池田南	1,888	4,490
	4	上万能、弥藤太島、森岡、一言里、一言北原、一言エクレール、中田、気子島、宮之一色、海老塚(笹原島)、下万能	2,800	6,864
	小計			12,181
見付方面隊	1	東大久保、富士見町、東坂町、権現町、住吉町、元宮町、元天神町、緑ヶ丘、今之浦五丁目、安久路、城之崎	8,062	18,653
	2	宿町、中川町、新通町、清水町、天王町、地脇町、馬場町、元倉町、二番町、西坂町、一番町、幸町、梅屋町、河原町、加茂川通、美登里町、北見町、水堀、今之浦三丁目、今之浦四丁目	5,008	11,429
	3	今之浦一丁目、今之浦二丁目、西貝塚、西之島、上南田、東脇、新出、和口、東新屋、大立野、東新町一丁目、東新町二丁目、東新町三丁目	2,789	6,366
	4	鎌田、新貝、東貝塚、稗原	1,498	3,762
	5	玉越、西島(彦島)、三ヶ野、明ヶ島	1,943	4,426
	小計			19,300

方面隊	分団	町名	世帯数	人口
中泉方面隊	1	田町、久保町、坂上町、西新町、石原町、栄町、泉町、桜ヶ丘、旭ヶ丘、本町、京見塚、一言南原	4,457	9,938
	2	中央町、中町、東町、七軒町、西町、御殿、二之宮浅間通、二之宮一丁目、二之宮二丁目、二之宮三丁目、二之宮四丁目、二之宮中通、二之宮 宮本、大泉町、鳥之瀬町	4,219	8,691
	3	天竜、豊島、北島、千手堂、万正寺、中野、上大之郷、下岡田、上岡田、大和田、上大原、中大原、下大之郷、浜部	5,313	11,866
	4	鮫島、小島、野箱、白拍子、草崎、前野、新島、長須賀、刑部島	2,595	6,372
	小計		16,584	36,867
竜洋方面隊	1	掛塚本町、掛塚砂町、十郎島、白羽、川袋、野崎、敷地、内名、吹上、豊岡団地	2,155	4,986
	2	掛塚中町、掛塚田町、掛塚大当町、掛塚横町、掛塚新町、掛塚蟹町、掛塚東町、駒場、西平松、中平松、飛平松、東平松、竜洋稗原、大中瀬、小中瀬、南平松、請負新田	2,286	5,171
	3	西堀、竜洋中島、宮本、高木、松本、堀之内	1,724	4,344
	4	江口、金洗、竜洋雇用促進、岡、海老島、平間、ニュータウン、あおぼ	1,605	3,725
	小計		7,770	18,226
福田方面隊	1	1番組、2番組、3番組、4番組、5番組、8番組、9の1番組、9の2番組、12番組、五十子、南島、蛭池、東小島	1,909	4,773
	2	6の1番組、6の2番組、6の3番組、10の1番組、10の2番組、10の3番組、11番組、13番組、14番組、14番北組、7番組、15番組、石田組、中島新町	2,000	4,638
	3	昭和組、下太、本田東、本田中、本田西、新田東、新田中、新田西、塩新田、一色、清庵新田、太郎馬新田、南田、長池、大原、大原新町	1,984	4,777
	4	豊浜中野、小島方、大島、雁代	1,093	2,753
	小計		6,986	16,941
合計		70,706	167,375	



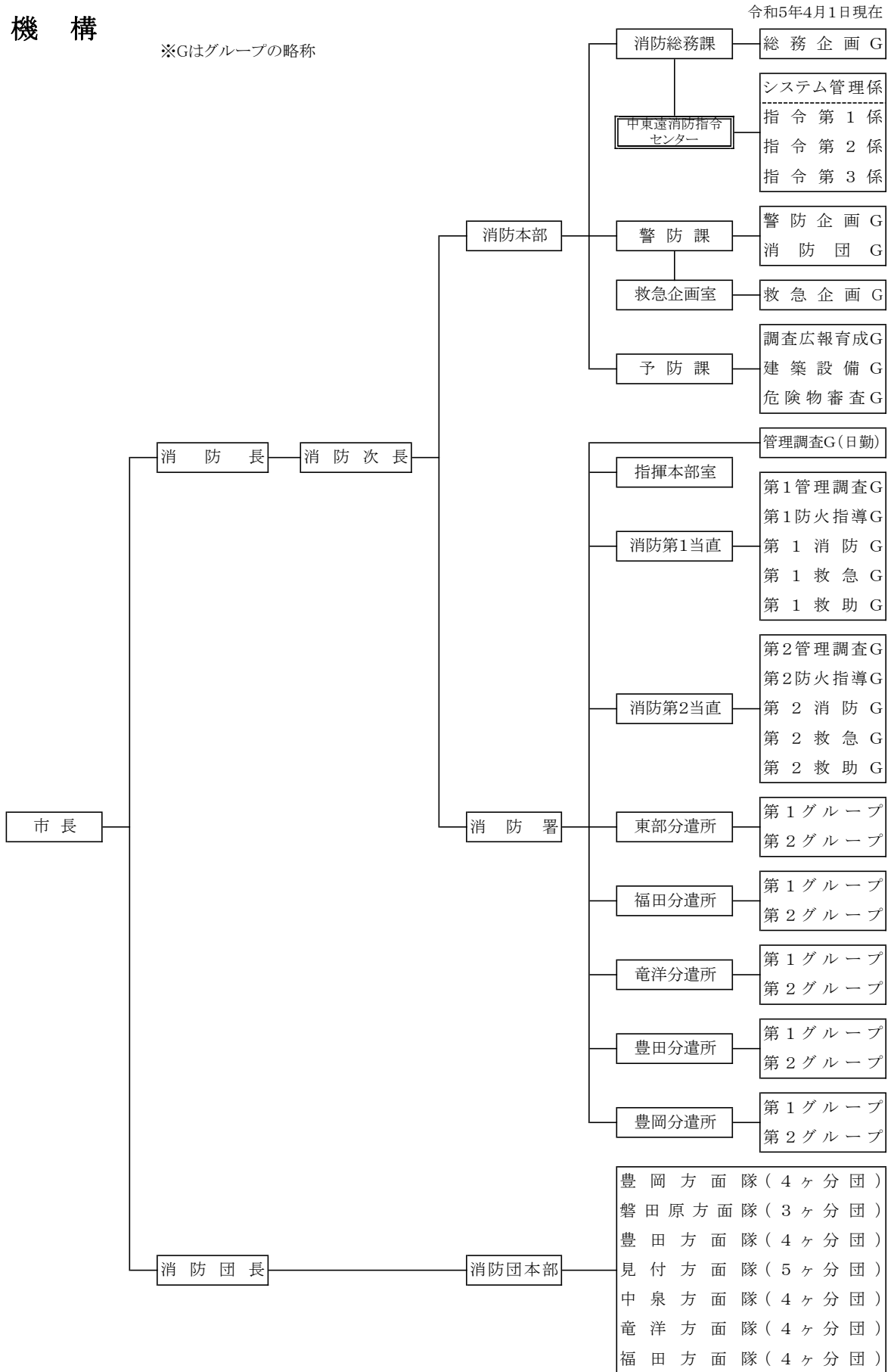
### 3 組 織

機 構	15
消 防 本 部 事 務 分 掌	16
消 防 職 員 現 勢	18
消 防 職 員 階 級 別 年 齡 調 べ	19
消 防 職 員 勤 続 年 数 調 べ	20
消 防 職 員 教 育 実 施 状 況	21
相 互 応 援 協 定	21

# 機 構

※Gはグループの略称

令和5年4月1日現在



## 消防本部事務分掌

### 消防総務課

- (1) 消防施策の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 消防の儀式に関すること。
- (3) 文書及び公印の管理に関すること。
- (4) 消防職員の任免、服務、給与、研修及び福利厚生に関すること。
- (5) 予算及び決算の調整に関すること。
- (6) 例規の制定改廃に関すること。
- (7) 消防庁舎の維持管理に関すること。
- (8) 消防職員の公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。
- (9) 消防職員委員会に関すること。
- (10) 文書及び物品の收受並びに発送に関すること。
- (11) 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会に関すること。
- (12) 前各号に掲げるもののほか、他の課に属しないこと。

### 警 防 課

- (1) 消防力の配備及び警防計画に関すること。
- (2) 水火災その他の災害の警戒、防ぎよ及び応援に関すること。
- (3) 消防水利及び地理に関すること。
- (4) 消防車両及び資器材及び消防救急無線の整備並びに管理に関すること。
- (5) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (6) OA機器の保安全管理に関すること。
- (7) 広域消防相互応援に関すること。
- (8) 消防団に関すること。
- (9) 救助統計に関すること。

### 救急企画室

- (1) 救急業務の企画運営に関すること。
- (2) 救急業務に係る医療機関との連絡調整に関すること。
- (3) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (4) 救急業務に係る教育訓練に関すること。
- (5) 救急資器材の整備及び管理に関すること。
- (6) 救急統計に関すること。

### 予 防 課

- (1) 火災の原因及び損害の調査並びに火災報告、火災統計に関すること。
- (2) り災証明に関すること。
- (3) 防火管理者に関すること。
- (4) 消防広報及び広聴活動に関すること。
- (5) 自衛消防組織等に関すること。
- (6) 火気使用承認願に関すること。
- (7) 防火協力団体の指導育成に関すること。
- (8) 危険物施設等の許可等及び検査に関すること。
- (9) 危険物施設等の予防査察に関すること。
- (10) 液化石油ガス施設に係る意見書の交付に関すること。
- (11) 火薬類取締法(昭和25年法律第149号)に基づく煙火の消費許可に関すること。
- (12) 高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)に基づく事業場等への立入検査に関すること。
- (13) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく液化石油ガス設備工事の届出の受理に関すること。
- (14) 危険物安全協会に関すること。
- (15) 建築物の許可、認可又は確認に係る同意並びに指導に関すること。
- (16) 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- (17) 火気使用設備等に関すること。
- (18) 防火対象物の予防査察に関すること。
- (19) ガス事業法(昭和29年法律第51号)に基づくガス用品の販売業者に対する報告の徴収、立入検査及びガス用品の提出命令に関すること。

## 消防署事務分掌

### 指揮本部室

- (1) 災害現場における指揮及び職員の安全管理に関すること。
- (2) 警防活動に係る規定等の整備に関すること。
- (3) 隔日勤務者の研修訓練等人材育成に関すること。
- (4) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (5) 広域消防相互応援に関すること。
- (6) その他消防署の組織運営に関し必要な事項に関すること。

### 消防第1、2当直

- (1) 文書の收受及び物品の出納並びにそれらの管理に関すること。
- (2) 庁舎及び備品の管理に関すること。
- (3) 署員の福利厚生及び貸与品に関すること。
- (4) 消防車両の運用管理に関すること。
- (5) 消防用機械器具の整備保全に関すること。
- (6) 予算の執行に関すること。
- (7) 小規模防火対象物の予防査察に関すること。
- (8) 防火指導及び防火相談に関すること。
- (9) 火災原因調査及び損害の調査並びに火災報告、火災統計に関すること。
- (10) 消防広報及び広聴活動に関すること。
- (11) 自衛消防組織等の指導に関すること。
- (12) その他火災予防に関すること。
- (13) 火災防ぎょ計画に関すること。
- (14) 消防水利及び地理調査に関すること。
- (15) 警防訓練に関すること。
- (16) 救急活動に関すること。
- (17) 救急用機械器具の整備保全に関すること。
- (18) 救急報告に関すること。
- (19) 救急統計に関すること。
- (20) 救急用品の管理に関すること。
- (21) 応急手当の指導に関すること。
- (22) 救助活動に関すること。
- (23) 救助用機械器具の整備保全に関すること。
- (24) 救助活動報告書に関すること。
- (25) 救助統計に関すること。
- (26) 救助隊の訓練計画に関すること。

### 分遣所

- (1) 救急及び救助活動に関すること。
- (2) 火災防ぎょ計画に関すること。
- (3) 消防水利及び地理調査に関すること。
- (4) 小規模防火対象物の査察に関すること。
- (5) 防火指導及び防火相談に関すること。
- (6) 消防機械器具の点検整備に関すること。
- (7) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (8) 業務統計に関すること。
- (9) 自衛消防組織等の指導に関すること。

# 消 防 職 員 現 勢

(令和5年4月1日現在)

区 分		消 防 吏 員							事 務 職 員	計			
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長			消 防 士		
消	消 防 長	1									1		
	消 防 総 務 課 長		1								1		
	警 防 課 長			1							1		
	予 防 課 長			1							1		
	新消防庁舎整備担当参事			1							1		
	DX 推 進 担 当 参 事			1							1		
	中東遠消防指令センター長			1							1		
防	消 防 総 務 課	総 務 企 画 G				1	1	2(1)	1(1)	1(1)	1	7(3)	
		指令センター担当(再任用)										1	
		消防学校派遣						1				1	
		県消防防災航空隊派遣							1			1	
		市役所出向				1	1					2	
	消防研究センター派遣						1				1		
	警 防 課	指令センター付	システム管理係				1	1					2
			指令第1係					2					2
			指令第2係					1	1	1			3
			指令第3係					2			1(1)		3(1)
予 防 課	企 救 画 室 急	警 防 企 画 G					3					3	
		消 防 団 G				1		2				3	
		警防担当(再任用)					1					1	
部	小 計	調 査 広 報 育 成 G				1	1	1		1		4	
		危 険 物 審 査 G				1	2					3	
		建 築 設 備 G					3			1		4	
		小 計	1	1	5	7	22	10(2)	2(1)	4(2)	1	53(5)	
消 防 署	消 防 次 長 兼 消 防 署 長 副 署 長 管理調査 G (日 勤)	消 防 次 長 兼 消 防 署 長		1								1	
		副 署 長			2							2	
		管理調査 G (日 勤)						1	1			2	
	本 署 分 遣 所	指 揮 本 部 室	消 防 第 1 当 直				6						6
			消 防 第 2 当 直				2	12	6	3	6(1)		29(1)
		東 部 福 田 竜 豊 岡	東 部				1	6	3	2	1		13
			福 田				2	9	3	1	4(2)		19(2)
			竜 豊				1	10	5		3		19
	小 計	豊 岡				3	9	5	1	3		21	
		豊 岡				1	6	5		3		15	
小 計	小 計		1	2	18	65	33	10	27(4)		156(4)		
	小 計	1	2	7	25	87	43(2)	12(1)	31(6)	1	209(9)		

※女性消防吏員の活躍推進に関する特定事業主行動を上記表にて示す

( )内 女性消防吏員数

消防吏員	女性消防吏員
208人	9人(4%)

令和5年4月1日現在の割合

## 消 防 職 員 階 級 別 年 齢 調 べ

(令和5年4月1日現在)

区 年 令	分 総 数	消 防 吏 員								事 務 職 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平均年齢	38.5才	57.0才	57.0才	56.9才	51.0才	42.6才	33.4才	26.4才	22.4才	52.0才
計	209人	1人	2人	7人	25人	87人	43人	9人	34人	1人
18	0									
19	1								1	
20	7								7	
21	6								6	
22	3								3	
23	5								5	
24	9								9	
25	4							2	2	
26	6						1	5		
27	4						3	1		
28	9						8		1	
29	4						4			
30	3						3			
31	5						4	1		
32	3						3			
33	4						4			
34	3						3			
35	5					2	3			
36	6					5	1			
37	4					4				
38	6					6				
39	4					4				
40	8					8				
41	7					7				
42	3					3				
43	9					9				
44	6					6				
45	4					4				
46	5					4	1			
47	11				4	6	1			
48	9				2	6	1			
49	9				2	6	1			
50	9				5	4				
51	2				2					
52	2				1					1
53	4				4					
54	1				1					
55	5			2	2		1			
56	2		1		1					
57	7	1		3	1	2				
58	2		1	1						
59	1			1						
60	1						1			
61	1					1				

# 消 防 職 員 勤 続 年 数 調 べ

(令和5年4月1日現在)

区 分		消 防 吏 員								事 務 職 員
年 数	総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平均勤続年数	18.3年	36.0年	36.0年	38.9年	30.9年	22.1年	12.9年	5.9年	3.1年	32.0年
計	209人	1人	2人	7人	25人	87人	43人	9人	34人	1人
1年未満	4								4	
1	4								4	
2	7								7	
3	7								7	
4	6							4	2	
5	4						1		3	
6	7								7	
7	9						5	4		
8	5						5			
9	9						8	1		
10	5						5			
11	5						5			
12	5						5			
13	1					1				
14	5					4	1			
15	7					6	1			
16	7					6	1			
17	3					3				
18	5					5				
19	9					9				
20	7					7				
21	5					5				
22	4					4				
23	5					5				
24	4				1	3				
25	6				2	4				
26	5				2	3				
27	11				4	7				
28	6					4	2			
29	6				2	4				
30	4					3	1			
31年以上	32	1	2	7	14	4	3			1

# 消防職員教育実施状況

令和4年度

区分	階級	計	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
県 消 防 学 校	初任教育	初任科	4							4	
	幹部教育	上級幹部科	1		1						
		中級幹部科	1			1					
		初級幹部科	1				1				
	専科教育	救助科	2						1	1	
		警防科	2				1		1		
		予防査察・危険物科	2				2				
		救急科	7								7
		火災調査科	2				1		1		
	特別教育	水難救助科	2							1	1
		ビデオ喉頭鏡講習									
		潜水士試験対策講習	2						1		1
		処置拡大追加講習									
		実践的大規模災害対応講	2				2				
女性消防吏員講習		1								1	
消 防 大 学 校	総合教育	指令センター員講習	1				1				
		ホットトレーニング講習	11				11				
	専科教育	新任消防長・学校長科									
		幹部科	1				1				
		火災調査科									
		救急科									
		予防科									
	実務(特別)講習	救助科									
		新任教官科	1				1				
		危機管理・防災協力科									
	高度救助・特別高度救助コース										
救急救命士研修(東京研修所)		2							2		
合	計	45			1	2	20	4	4	14	

## 相互応援協定

名称	締結市町等	締結年月日
静岡県消防相互応援協定	静岡県内全市町	平成29年3月10日
静岡県西部地区内高速道路における消防相互応援協定	菊川市 掛川市	平成17年7月1日
静岡県西部地区内高速道路における消防相互応援協定に基づく覚書	袋井市森町広域行政組合 浜松市	平成26年3月27日
静岡県西部地区内新東名高速道路における消防相互応援協定	掛川市	平成24年3月29日
静岡県西部地区内新東名高速道路における消防相互応援協定に基づく覚書	袋井市森町広域行政組合 浜松市	令和3年7月1日
一般国道1号浜松バイパス・一般国道1号磐田バイパスにおける消防相互応援協定	浜松市	平成26年12月1日
鉄道災害時における安全対策に関する覚書	県内消防本部 東海旅客鉄道(株)静岡支社 東日本旅客鉄道(株)横浜支社 日本貨物鉄道(株)東海支社 伊豆急行(株)伊豆箱根鉄道(株) 遠州鉄道(株)大井川鉄道(株) 岳南鉄道(株)静岡鉄道(株) 天竜浜名湖鉄道(株)	平成16年4月30日
新幹線災害時における消防機関と鉄道事業者との連携に関する覚書	県内消防本部 東海旅客鉄道(株)	平成19年7月1日



## 4 施 設

庁 舎 紹 介	23
常 備 消 防 車 両 一 覧 表	25
消 防 水 利 の 現 況	26

# 庁舎紹介



## 磐田市消防本部

磐田市福田400番地 磐田市福田支所

鉄筋コンクリート造4階建 免震構造

建物延べ面積 5,514㎡

敷地面積 8,855㎡

平成15年2月 竣工

3階 警防課、予防課

4階 消防長室、消防総務課、中東遠消防指令センター



## 磐田市消防署

磐田市今之浦二丁目14番地2

鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建

建物延べ面積 3,026㎡

敷地面積 5,329㎡

昭和57年10月 竣工

1階 車庫、仮眠室、食堂等

2階 消防署、指揮本部室、団本部室、会議室等、救急企画グループ

3階 大会議室、研修室、倉庫、トレーニング室等



## 東部分遣所

磐田市岩井1907番地4

鉄骨造2階建

建物延べ面積 272㎡

敷地面積 1,285㎡

昭和56年10月 竣工

1階 事務所、車庫、倉庫、食堂

2階 仮眠室



## 福田分遣所

磐田市南島237番地

鉄骨造2階建

建物延べ面積 933㎡

敷地面積 3,025㎡

平成15年 5月 竣工

1階 事務所、車庫、倉庫、食堂、仮眠室

2階 会議室等、仮眠室



竜洋分遣所  
磐田市白羽698番地1  
鉄骨造2階建  
建物延べ面積 732㎡  
敷地面積 3,021㎡  
平成10年 3月 竣工  
1階 事務所、車庫、倉庫、食堂  
2階 仮眠室、会議室等



豊田分遣所  
磐田市森岡119番地1  
鉄骨造2階建  
建物延べ面積 664㎡  
敷地面積 2,807㎡  
平成元年 3月 竣工  
1階 事務所、車庫、倉庫、食堂  
2階 仮眠室、会議室等



豊岡分遣所  
磐田市合代島438番地1  
鉄骨造2階建  
建物延べ面積 584㎡  
敷地面積 2,547㎡  
平成 6年 3月 竣工  
1階 事務所、車庫、倉庫、食堂  
2階 仮眠室、会議室

# 車 両 一 覧 表

(令和5年4月1日現在)

種 別	所 属	登 録 番 号	車 名	年 式	ポンプ 級別	ポ ン プ 製 作 所	ポンプ 型式	排 気 量 (cc)	呼 称
指 令 車	本部	浜松 800 さ 4779	ト ヨ タ	H13				2,990	5 1 号車
連 絡 車		浜松 41 く 8013	ス ブ キ	H7				650	6 0 号車
火 災 調 査 車		浜松 800 さ 7979	ト ヨ タ	H31				1,990	6 1 号車
査 察 車		浜松 50 よ 2389	三 菱	H15				650	6 8 号車
査 察 車		浜松 480 さ 6757	マ ツ ダ	H26				650	9 6 号車
人 員 搬 送 車		浜松 33 み 9402	ト ヨ タ	H7				2,980	9 7 号車
人 員 搬 送 車		浜松 800 た 91	ト ヨ タ	H10				1,990	9 9 号車
高規格救急車	本署	浜松 800 す 9746	ト ヨ タ	R4				2,690	救急1号車
高規格救急車		浜松 800 す 7922	ニ ッ サ ン	H31				2,480	救急7号車
ポ ン プ 車		浜松 800 さ 5532	い す ゞ	H14	A-2	畠山ポンプ	2 段	4,570	1 号車
大 型 水 槽 車		浜松 800 は 845	日 野	H25	A-2	モ リ タ	2 段	8,866	2 1 号車
は し ご 車		浜松 800 は 885	日 野	H26				8,866	3 1 号車
救 助 工 作 車		浜松 830 す 2041	日 野	R2				5,120	4 1 号車
指 揮 車		浜松 800 す 6887	ト ヨ タ	H29				2,690	5 3 号車
防 火 広 報 車		浜松 800 さ 5402	ト ヨ タ	H13				1,990	6 9 号車
化 学 車		浜松 800 は 1046	日 野	H29	A-2	モ リ タ	2 段	6,400	7 1 号車
化 学 車		浜松 800 は 50	日 野	H11	A-2	モ リ タ	2 段	7,960	8 8 号車
災 害 機 動 支 援 車		浜松 800 す 1576	ト ヨ タ	H20				4,000	9 1 号車
人 員 搬 送 車		浜松 400 す 8944	ト ヨ タ	H13				2,180	9 2 号車
資 機 材 搬 送 車		浜松 480 つ 1564	ス ブ キ	R2				650	9 4 号車
人 員 搬 送 車		浜松 33 ゆ 757	ト ヨ タ	H26				2,980	9 8 号車
高規格救急車		浜松 800 す 5360	ト ヨ タ	H26				2,690	救急8号車
マ イ ク ロ バ ス		浜松 200 さ 159	三 菱	H12				5,240	マイクロバス
人 員 搬 送 車		浜松 300 た 6161	ト ヨ タ	H12				2,690	レジアス
連 絡 車		浜松 41 く 6583	ホ ン ダ	H18				650	アクティ
高規格救急車	東部	浜松 800 せ 394	ト ヨ タ	R4				2,690	救急2号車
化 学 車		浜松 800 は 394	い す ゞ	H17	A-2	GMいちほら	2 段	7,160	7 2 号車
小 型 支 援 車		浜松 80 あ 815	ス ブ キ	H11				650	6 2 号車
高規格救急車	福田	浜松 800 す 7236	ト ヨ タ	H29				2,690	救急3号車
水 槽 付 ポ ン プ 車		浜松 800 す 5800	日 野	H27	A-2	モ リ タ	2 段	6,400	8 3 号車
資 機 材 搬 送 車		浜松 800 す 2354	ニ ッ サ ン	H21				6,400	9 5 号車
小 型 支 援 車		浜松 80 あ 917	ス ブ キ	H12				650	6 3 号車
ボ ー ト ト レ ー ラ ー		浜松 800 る 438	ソ レ ッ ク ス	H28				—	ボートトレーラー
高規格救急車	竜洋	浜松 800 す 7923	ニ ッ サ ン	H31				2,480	救急4号車
ポ ン プ 車		浜松 800 さ 2365	三 菱	H11	A-2	モ リ タ	2 段	5,240	8 号車
水 槽 付 ポ ン プ 車		浜松 800 は 1056	日 野	H29	A-2	日本機械	2 段	6,400	8 4 号車
小 型 支 援 車	浜松 80 あ 916	ス ブ キ	H12				650	6 4 号車	
高規格救急車	豊田	浜松 800 す 7237	ト ヨ タ	H29				2,690	救急5号車
水 槽 付 ポ ン プ 車		浜松 800 は 502	日 野	H19	A-2	畠山ポンプ	2 段	6,400	8 5 号車
小 型 支 援 車		浜松 880 あ 362	ス ブ キ	H21				650	6 5 号車
指 令 車		浜松 830 せ 51	三 菱	H12				2,970	5 4 号車
高規格救急車	豊岡	浜松 800 す 9145	ト ヨ タ	R3				2,690	救急6号車
水 槽 付 ポ ン プ 車		浜松 800 す 4114	日 野	H24	A-2	モ リ タ	2 段	6,400	8 6 号車
ポ ン プ 車		浜松 830 さ 3731	日 野	H11	A-2	日本機械	2 段	4,890	6 7 号車
小 型 支 援 車		浜松 80 あ 909	ス ブ キ	H12				650	6 6 号車

# 消 防 水 利 の 現 況

(令和5年4月1日現在)

区 分	公 設	私 設	
消 火 栓	3,046	8	
簡 易 水 道 消 火 栓	47		
防 火 水 槽	20m <sup>3</sup> 未満	44 (0)	2 (0)
	20m <sup>3</sup> ~ 40m <sup>3</sup> 未満	278 (3)	67 (2)
	40m <sup>3</sup> ~ 60m <sup>3</sup> 未満	877 (577)	185 (127)
	60m <sup>3</sup> ~ 100m <sup>3</sup> 未満	52 (31)	17 (2)
	100m <sup>3</sup> 以上	63 (55)	11 (0)
	合 計	1,314 (666)	282
井 戸	500~1,000ℓ/min未満	94	
	1,000ℓ/min以上	158	7

そ の 他	
河 川 ・ 溝 等	11
海 ・ 湖	
プ ー ル	49
濠 ・ 池 等	22
下 水 道	
そ の 他	93

※ ( ) 内の数字は耐震性

## 5 無線・119

無線電話装置数現勢	28
無線一覧表	29
中東遠消防指令センター（磐田市消防本部）入電状況	33
災害発生の通報状況	34
119番入電・テレガイド着信状況	35
119番入電状況：過去5年間の推移	35

# 無線電話装置数現勢

(令和5年4月1日現在)

種別		出力	マイクロ多重無線	活動波主運用波統制波	署活動波
固定局	指令センター	50mW	1		
	小笠山	50mW	1		
		100mW	1		
	磐田市北	100mW	1		
基地局	小笠山	5W		8	
	磐田市北	5W		5	
移動局	消防本部	車載無線	10W		34
		卓上型	5W		3
		可搬型	5W		3
		携帯無線	5W		27
	1W				68
	消防団	車載無線	10W		58
携帯無線		5W		10	
合計			4	146	68

# 無 線 一 覧 表

(令和5年4月1日現在)

種別	無線符号	出力 W	統制波			主運用波							活動波						配備先	積載車両			
			1ch	2ch	3ch	1ch	2ch	3ch	4ch	5ch	6ch	7ch	1ch	2ch	3ch	4ch	5ch	6ch					
基地局	磐田市北	5	○	○	○	○												○					
	小笠山	8	○	○	○	○								○	○	○	○						
移動局 (車載無線)	いわた 51	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本部	指令車	
	いわた 61	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		広報車	
	いわた 68	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		連絡車	
	いわた 69	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		広報車	
	いわた 99	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		連絡車	
	救急いわた 1	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	救急車
	救急いわた 7	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		救急車
	いわた 1	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ車
	いわた 21	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		大型水槽車
	いわた 31	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		梯子車
	いわた 41	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		救助工作車
	いわた 53	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		指揮車
	いわた 71	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		化学車
	いわた 88	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		化学車
	いわた 91	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		災害機動支援車
	救急いわた 8	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	救急車	
	救急いわた 2	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	東部	救急車
	いわた 62	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小型支援車
	いわた 72	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		化学車
	救急いわた 3	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	福田	救急車
	いわた 63	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小型支援車
	いわた 83	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		水槽車
	いわた 95	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	資機材搬送車	
	救急いわた 4	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	竜洋	救急車
いわた 8	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ポンプ車		
いわた 64	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小型支援車		
いわた 84	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水槽車		
救急いわた 5	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊田	救急車	
いわた 65	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小型支援車	
いわた 85	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		水槽車	
救急いわた 6	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊岡	救急車	
いわた 66	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		小型支援車	
いわた 67	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ車	
いわた 86	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		水槽車	



種別	無線符号	出力 W	統制波			主運用波							活動波						配備先	区 分	
			1ch	2ch	3ch	1ch	2ch	3ch	4ch	5ch	6ch	7ch	1ch	2ch	3ch	4ch	5ch	6ch			
移動局 (携帯無線)	いわた 101	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 102	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 103	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 104	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 105	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 106	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 107	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 108	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 109	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 110	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 111	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 112	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本署	携 帯	
	いわた 121	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	東部	携 帯	
	いわた 122	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	東部	携 帯	
	いわた 123	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	東部	携 帯	
	いわた 131	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	福田	携 帯	
	いわた 132	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	福田	携 帯	
	いわた 133	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	福田	携 帯	
	いわた 141	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	竜洋	携 帯	
	いわた 142	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	竜洋	携 帯	
	いわた 143	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	竜洋	携 帯	
	いわた 151	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊田	携 帯	
	いわた 152	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊田	携 帯	
	いわた 153	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊田	携 帯	
	いわた 161	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊岡	携 帯	
	いわた 162	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊岡	携 帯	
	いわた 163	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	豊岡	携 帯	
	いわた 171	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指揮本部	卓 上 型	
いわた 172	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指揮本部	卓 上 型		
いわた 173	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	災対本部	卓 上 型		
いわた 181	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指揮本部	可 搬 型		
いわた 182	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指揮本部	可 搬 型		
いわた 183	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指揮本部	可 搬 型		

(令和5年4月1日現在)

種別	無線符号	出力W	配備先	区分	無線符号	出力W	配備先	区分
署活動波	ほんしよしき 1	1	本署	携帯	と う ぶ 1	1	東部	携帯
	ほんしよしき 2	1	本署	携帯	と う ぶ 2	1	東部	携帯
	ほんしよしき 3	1	本署	携帯	と う ぶ 3	1	東部	携帯
	ほんしよしき 4	1	本署	携帯	と う ぶ 4	1	東部	携帯
	ほんしよしき 5	1	本署	携帯	と う ぶ 5	1	東部	携帯
	ほんしよポンプ 1	1	本署	携帯	と う ぶ 6	1	福田	携帯
	ほんしよポンプ 2	1	本署	携帯	ふ く で 1	1	福田	携帯
	ほんしよポンプ 3	1	本署	携帯	ふ く で 2	1	福田	携帯
	ほんしよポンプ 4	1	本署	携帯	ふ く で 3	1	福田	携帯
	ほんしよポンプ 5	1	竜洋	携帯	ふ く で 4	1	福田	携帯
	ほんしよローリー 1	1	本署	携帯	ふ く で 5	1	福田	携帯
	ほんしよローリー 2	1	本署	携帯	ふ く で 6	1	福田	携帯
	ほんしよきゆうじよ 1	1	豊田	携帯	り ゆ う よ う 1	1	竜洋	携帯
	ほんしよきゆうじよ 2	1	本署	携帯	り ゆ う よ う 2	1	竜洋	携帯
	ほんしよきゆうじよ 3	1	本署	携帯	り ゆ う よ う 3	1	竜洋	携帯
	ほんしよきゆうじよ 4	1	本署	携帯	り ゆ う よ う 4	1	竜洋	携帯
	ほんしよきゆうじよ 5	1	本署	携帯	り ゆ う よ う 5	1	竜洋	携帯
	ほんしよきゆうじよ 6	1	本署	携帯	り ゆ う よ う 6	1	竜洋	携帯
	ほんしよかがく 1	1	本署	携帯	と よ だ 1	1	豊田	携帯
	ほんしよかがく 2	1	本署	携帯	と よ だ 2	1	豊田	携帯
	ほんしよかがく 3	1	本署	携帯	と よ だ 3	1	豊田	携帯
	ほんしよかがく 4	1	本署	携帯	と よ だ 4	1	豊田	携帯
	ほんしよかがく 5	1	本署	携帯	と よ だ 5	1	豊田	携帯
	ほんしよかがく 6	1	豊田	携帯	と よ だ 6	1	豊田	携帯
	ほんしよきゆうきゆう 1	1	本署	携帯	と よ お か 1	1	豊岡	携帯
	ほんしよきゆうきゆう 2	1	本署	携帯	と よ お か 2	1	豊岡	携帯
	ほんしよきゆうきゆう 3	1	本署	携帯	と よ お か 3	1	豊岡	携帯
	ほんしよきゆうきゆう 4	1	本署	携帯	と よ お か 4	1	豊岡	携帯
	ほんしよきゆうきゆう 5	1	本署	携帯	と よ お か 5	1	豊岡	携帯
	ほんしよきゆうきゆう 6	1	本署	携帯	と よ お か 6	1	本署	携帯
	えんじよたい 1	1	本署	携帯				
	えんじよたい 2	1	本署	携帯				
えんじよたい 3	1	本署	携帯					
えんじよたい 4	1	本署	携帯					
えんじよたい 5	1	本署	携帯					
えんじよたい 6	1	本署	携帯					
えんじよたい 7	1	本署	携帯					
えんじよたい 8	1	本署	携帯					

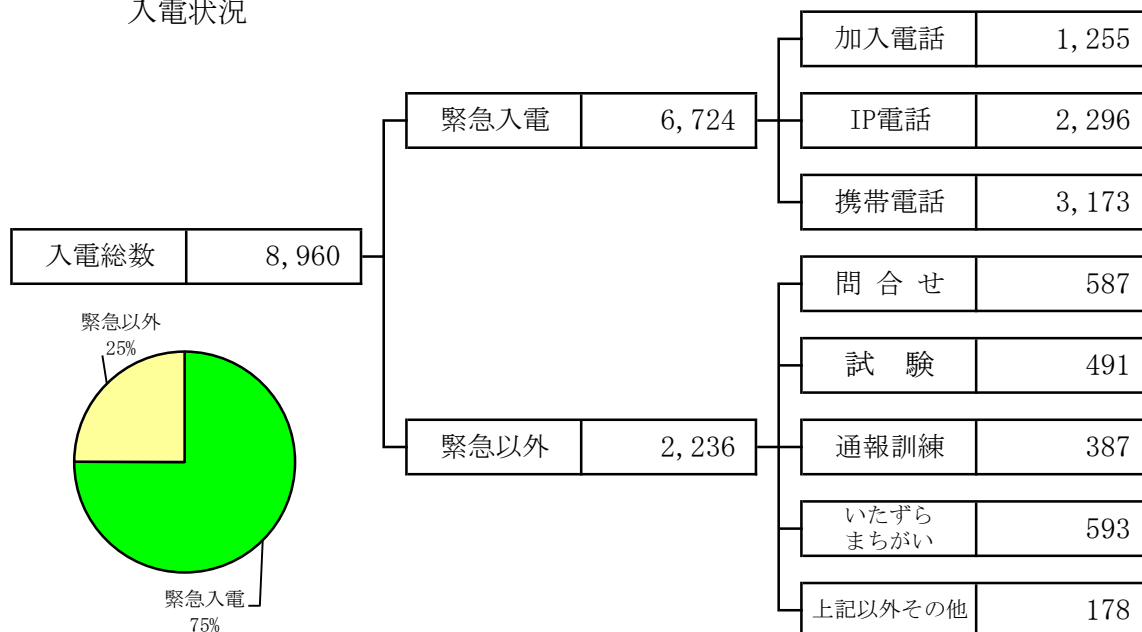
(令和5年4月1日現在)

種別	所属	無線符号	出力 W	積載・区分	種別	所属	無線符号	出力 W	積載・区分	
移動局	本部	いわたししょうぼうだん 201	10	指令車	移動局	見付方面隊	いわたししょうぼうだん 601	10	ポンプ車	
		いわたししょうぼうだん 202	10	指揮車			いわたししょうぼうだん 602	10	ポンプ車	
		いわたししょうぼうだん 203	10	積載車			いわたししょうぼうだん 603	10	ポンプ車	
		いわたししょうぼうだん 204	5	携帯			いわたししょうぼうだん 604	10	ポンプ車	
		いわたししょうぼうだん 205	5	携帯			いわたししょうぼうだん 605	10	ポンプ車	
		いわたししょうぼうだん 206	5	携帯			いわたししょうぼうだん 611	10	積載車	
		いわたししょうぼうだん 207	5	携帯			いわたししょうぼうだん 612	10	多機能車	
		いわたししょうぼうだん 208	5	携帯			いわたししょうぼうだん 613	10	積載車	
		いわたししょうぼうだん 209	5	携帯			いわたししょうぼうだん 614	10	多機能車	
		いわたししょうぼうだん 210	5	携帯			中泉方面隊	いわたししょうぼうだん 701	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 211	5	携帯				いわたししょうぼうだん 702	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 212	5	携帯				いわたししょうぼうだん 703	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 213	5	携帯				いわたししょうぼうだん 704	10	ポンプ車
	豊岡方面隊	いわたししょうぼうだん 301	10	ポンプ車	移動局		竜洋方面隊	いわたししょうぼうだん 711	10	積載車
		いわたししょうぼうだん 302	10	ポンプ車		いわたししょうぼうだん 712		10	積載車	
		いわたししょうぼうだん 303	10	ポンプ車		いわたししょうぼうだん 713		10	多機能車	
		いわたししょうぼうだん 304	10	ポンプ車		いわたししょうぼうだん 714		10	積載車	
		いわたししょうぼうだん 311	10	軽積載車		豊田方面隊		いわたししょうぼうだん 801	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 312	10	積載車				いわたししょうぼうだん 802	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 313	10	積載車				いわたししょうぼうだん 803	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 314	10	積載車				いわたししょうぼうだん 804	10	ポンプ車
	磐田原方面隊	いわたししょうぼうだん 401	10	ポンプ車	移動局	福田方面隊		いわたししょうぼうだん 811	10	多機能車
		いわたししょうぼうだん 402	10	ポンプ車				いわたししょうぼうだん 812	10	軽積載車
		いわたししょうぼうだん 403	10	ポンプ車				いわたししょうぼうだん 813	10	多機能車
		いわたししょうぼうだん 411	10	多機能車				いわたししょうぼうだん 814	10	多機能車
		いわたししょうぼうだん 412	10	多機能車		豊田方面隊		いわたししょうぼうだん 901	10	ポンプ車
		いわたししょうぼうだん 413	10	多機能車				いわたししょうぼうだん 902	10	ポンプ車
	豊田方面隊	いわたししょうぼうだん 501	10	ポンプ車	いわたししょうぼうだん 903		10	ポンプ車		
いわたししょうぼうだん 502		10	ポンプ車	いわたししょうぼうだん 904	10		ポンプ車			
いわたししょうぼうだん 503		10	ポンプ車	いわたししょうぼうだん 911	10	多機能車				
いわたししょうぼうだん 504		10	ポンプ車	いわたししょうぼうだん 912	10	積載車				
いわたししょうぼうだん 511		10	積載車	いわたししょうぼうだん 913	10	積載車				
いわたししょうぼうだん 512		10	積載車	いわたししょうぼうだん 914	10	積載車				
いわたししょうぼうだん 513		10	積載車							
いわたししょうぼうだん 514	10	積載車								

# 中東遠消防指令センター（磐田市消防本部）入電状況



## 入電状況



## 119番入電状況（災害別）



## 災害発生の通報状況

(件数)

通報内容	1 1 9			合計
	加入	I P	携帯	
火災発生通報	6	13	39	58
救急事故発生通報	1,223	2,271	3,048	6,542
救助事故発生通報	3	4	38	45
その他の災害発生通報	23	8	48	79
合計	1,255	2,296	3,173	6,724

### 1 1 9 番入電・テレガイド着信状況：過去5年間の推移

(件数)

通報内容別		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年比較 (△減)
緊急入電	火災	70	64	54	50	58	8
	救急	6,159	6,168	5,569	5,615	6,542	927
	救助	29	27	32	34	45	11
	その他災害	80	55	53	53	79	26
	小計	6,338	6,314	5,708	5,752	6,724	972
緊急以外 の入電	問合せ	553	485	371	352	587	235
	試験	507	539	435	407	491	84
	通報訓練	400	447	362	398	387	△ 11
	いたずら まちがい	479	587	563	625	593	△ 32
	上記以外その他	198	134	179	131	178	47
	小計	2,137	2,192	1,910	1,913	2,236	323
合計	8,475	8,506	7,618	7,665	8,960	1,295	

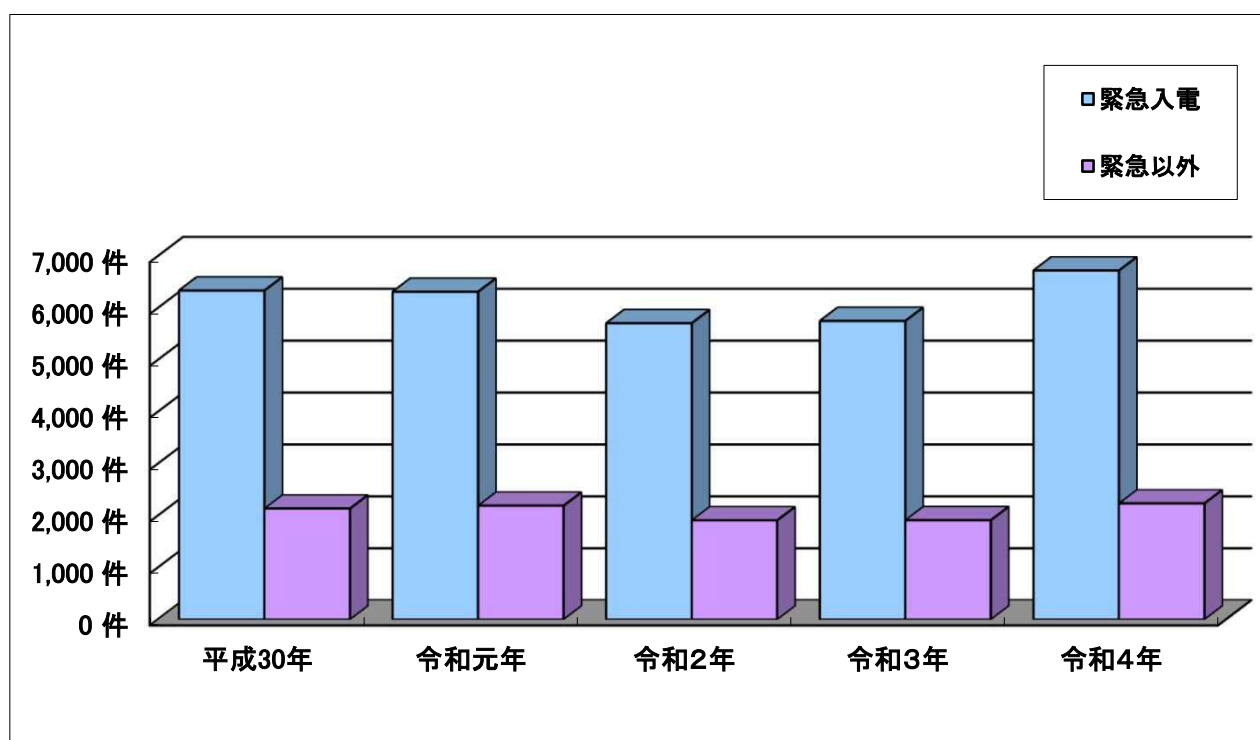
※平成28年から救助・通報訓練等を追加計上します。

テレガイド	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年比較 (△減)
火災等災害照会	2,439	2,799	2,588	2,113	2,595	482
病・医院の照会	217	212	187	98	116	18
合計	2,656	3,011	2,775	2,211	2,711	500

## 119番入電状況:過去5年間の推移

項目	年				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
緊急入電	6,338	6,314	5,708	5,752	6,724
緊急以外	2,137	2,192	1,910	1,913	2,236
合計件数	8,475	8,506	7,618	7,665	8,960

## 119番入電状況



## 6 火 災

過去5年間の火災発生状況	37
出火原因別火災状況	38
過去5年間の主な出火原因の推移 過去5年間の出火率	39

## 過去5年間の火災発生状況

区分 \ 年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	
出火件数	53	52	32	37	50	
建物	32	30	15	21	29	
林野		2	1	3		
車両	7	5	6	2	3	
船舶						
その他	14	15	10	11	18	
焼損棟数	45	30	23	29	37	
全焼	15	3	5	6	10	
半焼	2			2		
部分焼	10	7	5	6	7	
ぼや	18	20	13	15	20	
罹災世帯数	19	16	10	17	20	
罹災人員	61	41	20	40	55	
死者	2	1		1	2	
負傷者	11	13	4	5	3	
焼損状況	建物 (㎡)	1,401	691	417	1,090	2,109
	林野 (a)		87	74	26	
	車両 (台)	10	12	11	4	11
	船舶 (隻)					
	その他 (㎡)	16,121	3,825	567	2,641	5,719
損害額 (千円)	324,597	489,642	36,373	94,688	216,724	
建物 (千円)	317,611	486,450	33,756	93,071	197,768	
林野 (千円)		1,000	918			
車両 (千円)	2,004	914	1,492	373	3,248	
船舶 (千円)						
その他 (千円)	4,982	1,278	207	1,244	15,708	
爆発損害 (千円)						



# 出火原因別火災状況

(令和4年)

出火原因\種別	建	物	林	野	車	両	船	舶	そ	の	他	合	計	損	害	額
たばこ	1								1			2		108		
こんろ	2								1			3		41		
かまど																
風呂かまど																
炉	1											1		27		
焼却炉									1			1				
ストーブ	5											5		7,937		
こたつ																
ボイラー																
煙突・煙道																
排気管																
電気機器	2											2		221		
電気装置	1											1		123		
電灯電話等配線	1											1		21		
内燃機関																
配線器具	4											4		8,819		
火あそび									1			1				
マッチ・ライター									1			1		2		
たき火									1			1				
溶接機・溶断機	1											1		1		
灯																
衝突の火花																
取									1			1				
火入れ	1								2			3		40		
放	2					2			2			6		155,114		
放火の疑い																
その他	5								6			11		30,706		
不明・調査中	3					1			1			5		13,564		
合計	29					3			18			50		216,724		

(損害額単位: 千円)

## 過去5年間の主な出火原因の推移

出火原因	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
たばこ	4	5	3	4	2
たき火	4	7	1	1	1
火あそび	1			2	1
こんろ	2	5	1	1	3
放火	3	4	5	5	6
放火の疑い	1	2		1	
ストーブ	3				5
マッチ・ライター	2		1		1
電気機器	3	4		4	2
配線器具	2		3	2	4
不明	9	7	2	6	5
その他	14	8	16	6	11

## 過去5年間の出火率

(人口1万人当たりの出火件数)

区分 \ 年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
全 国	3.0	3.0	2.7	2.8	-
静 岡 県	2.8	2.7	2.4	2.7	-
磐 田 市	3.1	3.1	1.9	2.2	2.9

## 7 救 急

令和4年救急発生状況	41
事故種別出動件数及び搬送人員	42
曜日別搬送人員	42
出動件数・搬送人員及び事故内容の推移	43
人口1万人当たりの出動件数・1日の平均出動件数	43
傷病種別搬送人員	43
時間別搬送人員	44
年齢別搬送人員	44

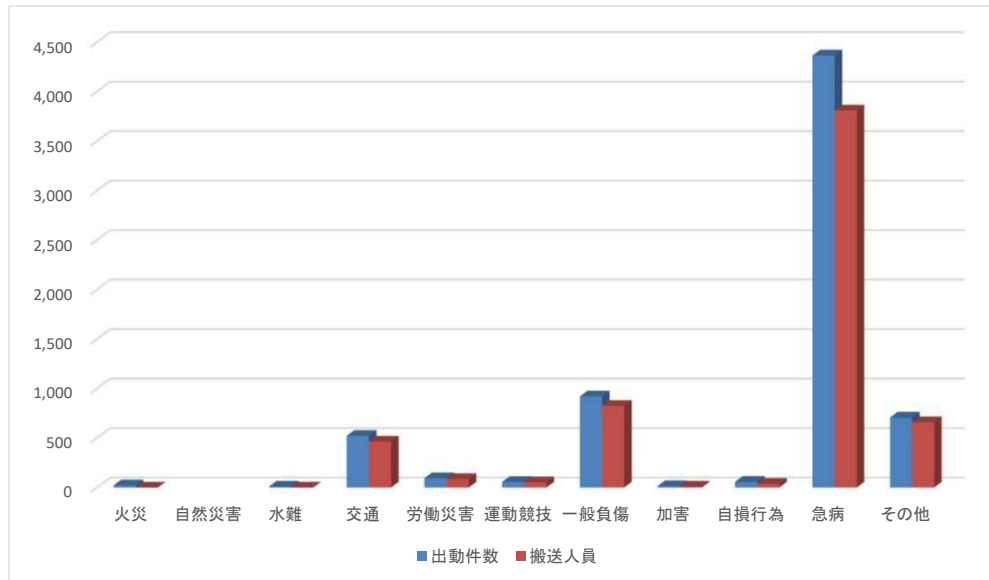
# 令和4年救急発生状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年同期	比較	
出動件数	575	512	533	481	516	500	635	678	622	556	532	635	6,775	5,810	965	
取扱件数	494	436	474	438	460	441	560	583	538	487	476	532	5,919	5,237	682	
搬送人員男	261	257	253	218	250	218	315	304	277	272	258	291	3,174	2,827	347	
搬送人員女	237	181	222	223	212	223	251	281	263	223	220	241	2,777	2,428	349	
覚知別	119	559	494	518	472	499	485	615	653	607	531	515	617	6,565	5,647	918
	加入電話	4	5	2		3	3	4	1	3	3	1	3	32	29	3
	警察電話	2	4	4	4	3	1	6	7	6	5	7	8	57	49	8
	駆付通報	2	2	2	2	2	4	3	6	1	7	1	2	34	39	-5
	自己覚知	3	4	6	2	6	5	6	8	4	7	5		56	34	22
	その他	5	3	1	1	2	2	1	3	1	3	3	5	30	12	18
事故種別	火災	3	2	1	2		2	3	2	2	2	2	1	22	15	7
	自然災害									1				1		1
	水難				1			1	2	5			1	10	12	-2
	交通	45	33	38	30	47	48	46	45	50	54	50	37	523	437	86
	労働災害	7	9	2	8	8	6	16	7	12	4	12	4	95	66	29
	運動競技		2	2	7	4	5	8	5	10	1	6	7	57	33	24
	一般負傷	91	66	80	60	76	68	64	90	90	85	71	80	921	829	92
	加害	1	1			2	1	1	1	1	5	2		15	10	5
	自損行為	2	4	3	8	6	5	5	4	9	4	3	5	58	35	23
	急病	362	340	324	307	325	304	433	465	381	347	337	441	4,366	3,745	621
	その他	64	55	83	58	48	61	58	57	61	54	49	59	707	628	79
搬送先人員	管内病医院	333	348	393	353	388	378	471	490	440	423	384	440	4,841	4,416	425
	管外病医院	164	89	82	88	74	63	95	95	100	72	94	92	1,108	838	270
	その他の場所	1	1											2	1	1
不搬送件数	81	76	59	43	56	59	75	95	84	69	56	103	856	573	283	

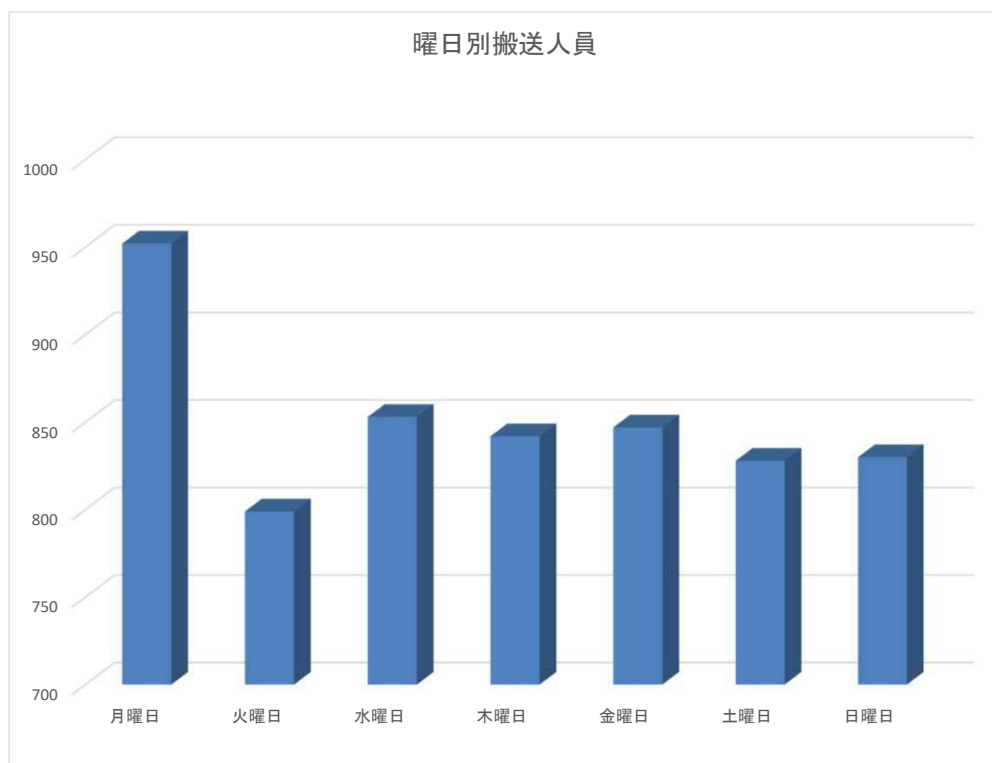
### 事故種別出動件数及び搬送人員

区分\事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
出 動 件 数	22	1	10	523	95	57	921	15	58	4,366	707	6,775
搬 送 人 員	1		1	464	87	54	825	10	38	3,810	661	5,951



### 曜日別搬送人員

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	計
搬送人員	952	799	853	842	847	828	830	5,951



## 出動件数・搬送人員及び事故内容の推移

区分 年別	出動件数	搬送人員	交通事故		急病		一般負傷	
	件数 A	人員	出動件数 B	構成比 B/A%	出動件数 C	構成比 C/A%	出動件数 D	構成比 D/A%
平成30年	6,426	5,901	544	8	4,120	64	907	14
令和元年	6,374	5,820	599	9	4,049	63	875	13
令和2年	5,741	5,182	461	8	3,635	63	900	15
令和3年	5,810	5,255	437	7	3,745	64	829	14
令和4年	6,775	5,951	523	8	4,366	64	921	14

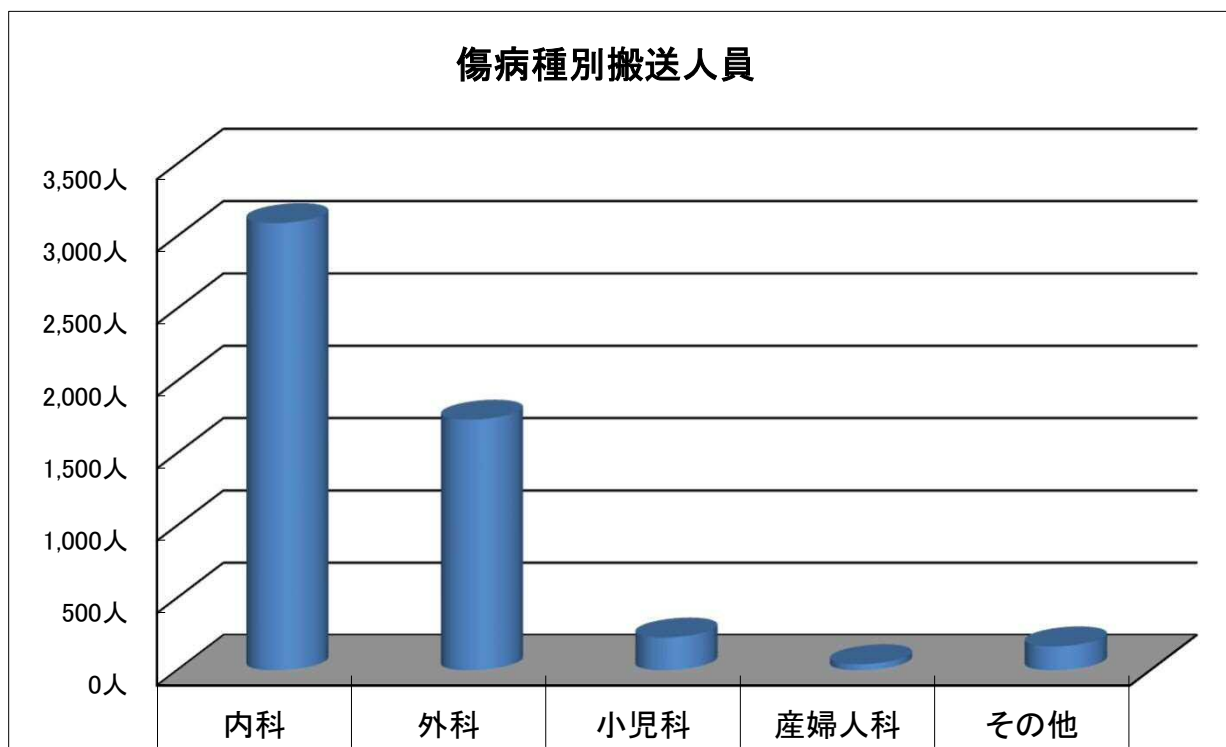
※ 構成比は全出動件数に占める事故種別出動件数を%であらわしたものの

## 人口1万人当たりの出動件数・1日の平均出動件数

年別	救急隊数	12月31日現在の人口(人)	人口1万人当たりの出動件数	1日平均出動件数
平成30年	6	170,038	377.9	17.6
令和元年	7	169,818	375.3	17.5
令和2年	7	169,274	339.2	15.7
令和3年	7	168,175	345.5	15.9
令和4年	7	167,520	404.4	18.6

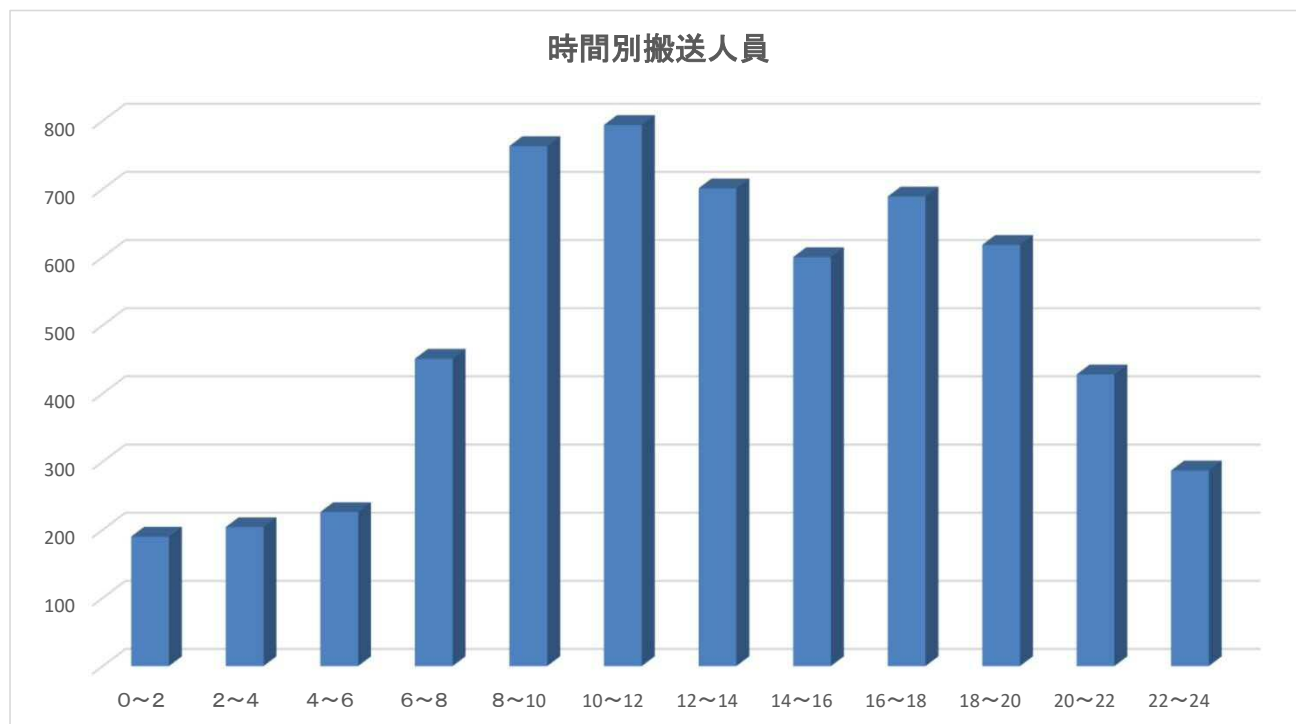
## 傷病種別搬送人員

種別	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計
搬送人員	3,481	1,973	307	36	154	5,951



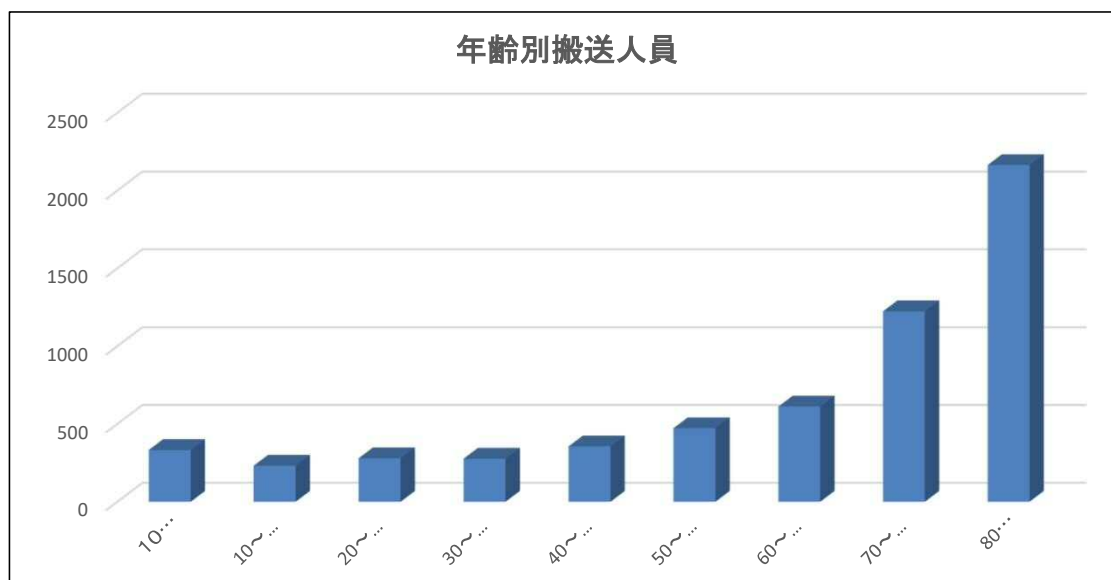
### 時間別搬送人員

時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
搬送人員	190	204	226	451	763	794	701	600	689	618	428	287	5,951



### 年齢別搬送人員

年齢	10歳未満	10~20歳未満	20~30歳未満	30~40歳未満	40~50歳未満	50~60歳未満	60~70歳未満	70~80歳未満	80歳以上	計
搬送人員	333	232	280	277	356	473	612	1,224	2,164	5,951



## 8 救 助

組 織	46
救助工作車積載装備品	47
令和4年救助業務実施状況	48
地域別救助出動状況	49
救助出動件数及び救助人員の推移	49



# 組 織

(令和5年4月1日現在)

署 所 名	隊 長	副 隊 長	安 全 員	隊 員	計	訓 練 要 員
本 署	2	4	5	17	28	5
東部分遣所				1	1	
福田分遣所			1	4	5	
竜洋分遣所				2	2	
豊田分遣所			1	3	4	2
豊岡分遣所						1
計	2	4	7	27	40	8



# 救助工作車積載装備品

(令和5年4月1日現在)

品名		数量	品名		数量
一般救助器具	かぎ付きはしご	1	検知測定器具	可燃性ガス測定器	1
	三連はしご	1		有毒ガス測定器	1
	ワイヤ式はしご	1		放射線測定器	1
	救命索発射銃	1			
	サバイバースリング	1	呼吸器保護器具	空気呼吸器	5
	救助用縛帯	1		予備ボンベ(空気)	9
	救助用ロープ	各種		送排風機	2
	カラビナ	25	隊員保護用具	耐電手袋	5
滑車	6	耐電衣一式		3	
重量物	油圧ジャッキ	1		安全带	5
	油圧スプレッター	1		放射線保護服	3
	可搬ウィンチ	1		隊員用縛帯	6
排除器具	ワイヤーロープ	6		個人携帯警報器	5
	マンホール救助器具一式	1		その他	投光器一式
	マット型ジャッキ一式	1	バスケット型担架		1
切断破壊器具	油圧切断機	1	救助用支柱器具	1	
	エンジンカッター	1	その他の携帯用工具一式	1	
	チェーンソー	1	救助用	パーティカルストレッチャー	1
	酸素溶断機	1	ベビーホイスト	1	
	鉄線カッター	1	山岳救助資機材一式	1	
	空気鋸	1	器具	ハリガンツール	1
	大型油圧切断機	1	高	ポケット線量計	5
	空気切断機	1	度	画像探索機Ⅰ	1
	万能斧	4	救	画像探索機Ⅱ	1
	ハンマー	1	助	地中音響探知機	1
携帯用コンクリート破壊器具	1	資	熱画像直視装置	1	
削岩機	1	機	夜間用暗視装置	1	
ハンマードリル	1	材	地震警報器	1	

# 令和4年 救助業務実施状況 (磐田市)

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

区分	事故種別	火災		交通事 故	水難事 故	風水害等	機械事 故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計	前年	増減
		建物	その他											
前年同期		13	2	22	11		1	16			8	73	78	-5
出動件数		19	3	39	8		2	11			5	87	73	14
活動件数		19	3	30	6		1	9			2	70	56	14
救助人員				36	4		1	9			2	52	41	11
出動人員	専任救助隊員	82	13	157	37		8	42			20	359	307	52
	兼任救助隊員													
	消防隊員	373	45	238	60		14	72			30	832	639	193
	救急隊員	55	9	192	26		6	35			16	339	260	79
	消防団員	581	87									668	485	183
	計	1,091	154	587	123		28	149			66	2,198	1,691	507
出動車両等	救助工作車	18	3	39	8		2	9			5	84	70	14
	ポンプ自動車	39	9	30	5		3	6			1	93	77	16
	はしご車	1		2								3		3
	化学車	25	1	15	6		1	7			3	58	44	14
	指揮・指令車	19	3	38	8		2	10			5	85	72	13
	救急車	18	3	62	9		2	11			5	110	82	28
	船舶											0		
	ヘリコプター				1							1		1
	その他	14	2	1	11			2			2	32	29	3
	消防団車両	100	17									117	85	32
計	234	38	187	48		10	45			21	583	459	124	

※ 火災の場合の出動人員・出動車両等は、救助活動を行った場合のみ記載される。

# 地域別救助出動状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

事故種別 地域	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
磐 田 市	18 (18)	3 (3)	39 (30)	10 (7)	7 (4)	3 (2)	10 (8)			5 (2)	95 (74)
磐 田	6 (6)	1 (1)	17 (14)	4 (2)	2 (1)	2 (1)	6 (4)			3	41 (29)
福 田	4 (4)		3 (3)	1 (1)							8 (8)
竜 洋	1 (1)	2 (2)	4 (2)	4 (3)		1 (1)	1 (1)				13 (10)
豊 田	5 (5)		12 (9)				3 (3)				20 (17)
豊 岡	2 (2)		2 (2)		5 (3)					2 (2)	11 (9)
管 外			1	1 (1)							2 (1)

※ 下段の( )内は活動件数

# 救助出動件数及び救助人員の推移

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

区 分 年	救 助 出 動 件 数		救 助 人 員	
	件 数	対 前 年 増 減	人 員	対 前 年 増 減
平 成 30 年	79	5	31	-11
令 和 元 年	83	4	44	13
令 和 2 年	78	-5	52	8
令 和 3 年	72	-6	41	-11
令 和 4 年	95	23	58	17

## 9 気 象

月別気象情報 51

火災と気象 52

# 月 別 気 象 情 報

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年		
風向・風速等	平均風速	m/s	4.5	4.8	4.4	3.6	3.3	3.7	2.8	3.3	3.3	2.8	3.3	4.9	3.7	
	最多風向	方位	北西	北西	北西	北東	西北西	西南西	南南西	西南西	東北東	北	北西	北西	北西	
	最大瞬間	風速	m/s	25.8	23.5	24.4	19.8	21.9	22.4	18.3	23.3	20.3	16.1	21.5	27.2	27.2
		風向	方位	北北西	西北西	北北西	南西	南南東	東	西南西	東北東	南西	西	西北西	西北西	西北西
		発生日時		1/12 13:08	2/20 16:34	3/6 1:10	4/26 22:03	5/27 5:19	6/6 12:00	7/19 14:24	8/13 13:03	9/19 21:59	10/23 12:18	11/30 15:51	12/23 5:22	12/23 5:22
気温	平均	℃	5.7	5.9	12.3	16.5	19.2	22.9	26.6	28.0	25.9	19.3	16.1	8.2	17.2	
	最高	℃	14.6	15.8	22.9	26.7	28.6	32.2	33.7	37.0	32.8	28.5	24.0	16.9	37.0	
		発生日時		1/9 13:34	2/28 13:46	3/14 14:36	4/23 13:38	5/27 14:31	6/30 9:30	7/22 15:16	8/3 14:08	9/12 13:58	10/5 13:39	11/3 13:33	12/10 12:21	8/3 14:08
	最低	℃	-0.9	0.2	2.8	7.4	10.1	15.7	21.9	21.4	19.0	7.7	6.5	-1.0	-1.0	
		発生日時		1/22 6:18	2/18 3:47	3/7 3:05	4/2 5:19	5/4 3:11	6/14 23:43	7/8 7:03	8/29 18:44	9/30 5:54	10/26 6:12	11/19 6:09	12/19 6:23	12/19 6:23
湿度	相対	%	56.5	58.7	61.9	79.0	75.3	86.0	89.5	86.2	83.1	74.7	70.8	60.7	73.5	
	実効	%	57.0	58.7	61.2	79.0	75.4	85.7	89.2	86.1	83.5	75.1	70.5	60.9	73.5	
気圧	現地	hPa	1015.9	1017.0	1014.2	1014.9	1011.7	1009.3	1007.3	1008.2	1011.7	1017.4	1017.1	1015.8	1013.4	
	海面	hPa	1016.4	1017.5	1014.7	1015.4	1012.2	1009.8	1007.8	1008.6	1012.2	1017.9	1017.6	1016.3	1013.9	
降水量	平均	mm	0.8	1.2	4.5	6.9	8.1	4.4	17.0	6.4	14.9	1.7	4.1	0.7	5.9	
	最高	mm	13.5	13.5	82.0	45.5	77.0	45.5	131.5	64.5	254.5	25.5	37.5	11.0	254.5	
		発生日		1/11	2/10	3/26	4/29	5/14	6/21	7/8	8/13	9/23	10/7	11/28	12/22	9/23
	月	mm	25.5	33.0	140.0	208.0	250.0	132.5	526.0	199.0	447.5	53.0	121.5	22.0	2158.0	

# 火災と気象

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

		出火件数						焼損棟数					焼損面積		
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(m <sup>2</sup> )	林野 面積(a)
合計		50	29		3			18	37	10		7	20	2,038	
風速	湿度														
	35(%)未満														
	0以上 35～55	3	2					1	2				2		
	～ 55～75	3	2					1	2				2		
	3未満 75以上	7	4		2			1	8	4		1	3	1,491	
	不明														
3以上	35(%)未満	1	1						1			1			
	35～55	3	2					1	2				2		
	～ 55～75	11	6					5	6	1		1	4	44	
	6未満 75以上	5	4					1	4			1	3		
		不明													
6以上	35(%)未満	1	1						3	2		1		103	
	35～55	8	3		1			4	5	2		1	2	259	
	～ 55～75	1	1						1			1		4	
	9未満 75以上	2						2							
		不明													
9以上	35(%)未満														
	35～55	2						2							
	55～75	1	1						1	1				137	
	75以上														
		不明													
不明	35(%)未満														
	35～55														
	55～75														
	75以上														
		不明	2	2					2				2		

## 10 予 防

幼年消防クラブについて	54
少年消防クラブについて	55
女性防災クラブについて	56
各種広報等活動状況	57
防火対象物一覧表	58
予防査察等件数	59
各種届出書受付処理状況	60
消防同意用途別件数	61
中高層建築物の現況	62
危険物製造所等の地域別設置許可状況	63
類別危険物製造所等の設置許可状況	63
数量別危険物製造所等の設置許可状況	64
危険物製造所等の許可・完成検査状況	64



## 幼年消防クラブについて

幼年消防クラブは、幼年期において正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解してもらうことにより、火遊び等による火災発生の減少を図ろうとするものである。近い将来、少年・少女を中心とした防災活動に参加できる素地をつくるため、6歳以下の児童(幼稚園、保育園、こども園の園児等)を対象として編成されている。

## 幼年消防クラブの現況

令和4年度 20園 515名

園名	結成年月日	クラブ員数
リーザプレスクール	令和元年 8月 28日	19
大藤こども園	令和元年 9月 2日	24
聖隷こども園こうのとり豊田	令和元年 9月 5日	35
子育てセンターみなみしま	令和元年 9月 5日	30
豊田みなみ保育園	令和元年 9月 6日	30
子育てセンターとみがおか	令和元年 9月 9日	22
広瀬こども園	令和元年 9月 11日	33
豊岡南幼稚園	令和元年 9月 13日	29
バディ保育園	令和元年 9月 26日	20
豊田北保育園	令和元年 10月 3日	26
いずみ第三保育園	令和元年 11月 1日	30
竜洋東こども園	令和元年 11月 5日	20
長野幼稚園	令和2年 6月 3日	17
いずみ第二保育園	令和2年 6月 17日	24
ひまわり保育園	令和2年 6月 23日	20
向笠幼稚園	令和2年 6月 29日	22
岩田こども園	令和2年 7月 13日	19
豊岡こども園	令和2年 7月 15日	28
豊田東幼稚園	令和2年 9月 11日	27
めいわ竜洋保育園	令和4年 4月 26日	40

## おもなクラブ活動

1. 花火教室
2. 車両見学
3. 放水体験
4. 避難訓練
5. 煙体験
6. 地震体験車
7. 防火ポスター作成

## 活動の様子



# 少年消防クラブについて

少年消防クラブは、少年たちの学習に資することに基調をおき、火災を予防する方法や火についての問題を身近な生活の中に見い出し、それをお互いに研究してその結果を自分自身で実行し、周囲の人たちに及ぼしていくことを図ろうとするものである。少年たちの純真な泉のように湧きあがる大きな力に期待が寄せられている。

## 少年消防クラブの現況

令和4年度 9校 215名

学校名	結成年月日	クラブ員数	表彰
磐田中部小学校	昭和43年 5月 21日	5	昭和57年度消防庁長官表彰(表彰旗)
磐田南小学校	昭和43年 6月 20日	29	昭和55年度消防庁長官表彰(表彰旗)
竜洋西小学校	昭和48年 6月 28日	19	平成16年度消防庁長官表彰(表彰旗)
田原小学校	昭和53年 5月 20日	40	平成21年度消防庁長官表彰(表彰旗)
富士見小学校	昭和55年 5月 12日	29	平成23年度消防庁長官表彰(表彰旗)
豊岡南小学校	昭和56年 4月 3日	23	平成24年度消防庁長官表彰(表彰旗)
竜洋東小学校	昭和56年 5月 8日	14	平成26年度総務大臣表彰(表彰旗)
豊田南小学校	昭和57年 6月 18日	28	平成29年度総務大臣表彰(表彰旗)
豊田東小学校	昭和58年 5月 19日	28	平成30年度総務大臣表彰(表彰旗)

## おもなクラブ活動

1. 消火器訓練
2. ロープワーク
3. 救急法
4. 三角巾
5. 花火教室
6. 車両見学
7. 放水体験
8. 煙体験
9. 防火ポスター作成

## 活動の様子



# 女性防災クラブについて

女性防災クラブは、家庭において火気を取り扱う機会が多い女性が火災予防の知識を習得し、また、消火、通報、避難等の行動的知識をも習熟することにより、一般家庭における出火を防止するとともに、クラブ活動を通じて地域での近隣協力体制を確立させ、明るい平和な家庭をひいては安全で住みよい地域社会づくりを目指すものである。

## 女性防災クラブの現況

令和4年度 19名

クラブ名	クラブ員数	表彰
磐田市女性防災クラブ連絡会	19	

## おもなクラブ活動

1. 防火・防災講座
2. 応急手当訓練
3. 初期消火訓練
4. 救急講座
5. 防災講演会
6. 防災広報

## 活動の様子



# 各種広報等活動状況

(令和4年度)

広報等の種類	回数	参加人員数等
消防訓練指導	128	13237人
防火フェア	2	2000人
ホームページ等各種媒体を活用した広報	通年実施	
車両広報	42	1566人
防火のぼり・展示等による広報	18	11ヶ所
防火ポスター作成・配布	4	2898枚
防火ちらし配布	5	3000枚
防火(防災)講座	8	327人
防火・防災管理講習会	4	200人
消防施設見学	58	1917人
花火教室	9	455人
普通救命講習	29	296人
救命講習	55	1703人
応急手当訓練	19	1081人
地震体験車	25	2120人
可搬ポンプ操作法指導	2	65人
消防車の操作法指導		人
消防団中継訓練	7	450人
防火帯設定(火道切り)		人



デジタル版広報誌ベっくん119



静岡県幼少年女性防火委員会  
防火ポスター銅賞作品

# 防 火 対 象 物 一 覧 表

(令和5年3月31日現在)

用 途		内 容	消 防 用 設 備 等 設 置 対 象 物	防 火 管 理 者 選 任 対 象 物	防 火 管 理 者 選 任 届 出 対 象 物	消 防 計 画 作 成 届 出 対 象 物
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 観 覧 場	9	3	2	2
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	183	345	337	336
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー	3	2	1	1
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	12	10	9	8
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗				
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2	2	2	2
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	2	1	2	2
	ロ	飲 食 店	179	89	88	82
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	280	170	154	149
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	21	13	12	12
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	1,450	81	55	53
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	119	29	28	28
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 ・ 養 護 老 人 ホ ー ム	43	49	37	37
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー ・ 保 育 所	121	69	67	66
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	26	20	20	20
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	177	51	53	53
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館	15	7	6	6
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	1	1	1	1
	ロ	イ に 掲 げ る 以 外 の 公 衆 浴 場	1	1	1	
10		車 両 の 停 車 場				
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	95	65	58	58
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	1,457	132	142	137
	ロ	映 画 ス タ ジ オ ・ テ レ ビ ス タ ジ オ				
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	53			
	ロ	格 納 庫				
14		倉 庫	877	17	18	14
15		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	565	94	103	102
16	イ	特 定 防 火 対 象 物 の 存 在 する 複 合 用 途 の 防 火 対 象 物	299	165	153	135
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	128	10	11	9
16-2	地	下 街				
16-3	準	地 下 街				
17		重 要 文 化 財 等	10	2	2	2
18		延 長 50メ ー ト ル 以 上 の ア ー ケ ー ド				
19		市 町 村 長 の 指 定 する 山 林				
20		総 務 省 令 で 定 め る 舟 車				
計			6,128	1,428	1,362	1,315

# 予 防 査 察 等 件 数

令和4年度

用 途		月 別											計			
		4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年				
1	イ	劇場・映画館・観覧場													1	1
	ロ	公会堂・集会場				1				1		9	1		1	13
2	イ	キャバレー・カフェー														
	ロ	遊技場・ダンスホール												1	1	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合・料理店														
	ロ	飲食店	1	2	1	2	3	4	6	11	1	3	2	31	67	
4		百貨店・マーケット		3	2	1	2	3	1	2		4		128	146	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所								1	1				2	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		1	1					8	21	14	7	8	60	
6	イ	病院・診療所・助産所			1					1		1	1		2	6
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム			1										1	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所			1	2			1			1	1	2	8	
	ニ	幼稚園・特別支援学校														
7		小・中・高・大学 各種学校			1							1		2		
8		図書館・博物館・美術館														
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場														
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場														
10		車両の停車場														
11		神社・寺院・教会		3	1		1		4		1			10		
12	イ	工場・作業場	5	2	15	21	18	17	21	20	9	2	2	1	133	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ												1	1	
13	イ	車庫・駐車場									1			2	3	
	ロ	格納庫														
14		倉庫			3	3	1	4	9	5	2	1	1	1	30	
15		前各項に該当しない事業場				1	2		5	7	3			9	27	
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途の防火対象物	1	3	2	1	2	1	3	6	3		1	3	26	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物					2				1	1			4	
16-2		地下街														
16-3		準地下街														
17		重要文化財等														
18		延長50メートル以上のアーケード														
19		市町村長の指定する山林														
20		総務省で定める舟車														
計			7	14	29	32	31	30	59	75	47	19	15	183	541	

# 各 種 届 出 書 受 付 処 理 状 況

令和4年度

区 分	受 付 件 数
防火防災管理者選任(解任)届出書【防火管理者】	314
防火防災管理者選任(解任)届出書【防災管理者】	82
統括防火防災管理者選任(解任)届出書【防火管理者】	0
統括防火防災管理者選任(解任)届出書【防災管理者】	0
消防計画作成(変更)届出書【防火管理者】	323
消防計画作成(変更)届出書【防災管理者】	80
全体についての消防計画作成(変更)届出書【防火管理者】	0
全体についての消防計画作成(変更)届出書【防災管理者】	0
自衛消防組織設置(変更)届出書	10
工事整備対象設備等着工届出書	99
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書	253
消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書	1,875
防火対象物点検結果報告書	75
防災管理点検結果報告書	5
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い開始(廃止)届出書	106
防火対象物使用開始届出書	95
防火対象物廃止届出書	9
炉設置届出書	5
温風暖房機設置届出書	0
厨房設備設置届出書	0
ボイラー設置届出書	23
給湯湯沸設備設置届出書	5
サウナ設備設置届出書	0
火花を生じる設備設置届出書	0
乾燥設備設置届出書	4
放電加工機設置届出書	0
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	3
変電設備設置届出書	35
急速充電設備設置届出書	11
発電設備設置届出書	10
燃料電池発電設備設置届出書	3
蓄電池設備設置届出書	3
ネオン管灯設備設置届出書	0
水素ガスを充てんする気球の設置届出書	0
煙火の打上げ仕掛け届出書	21
少量危険物貯蔵取扱い届出書	9
少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	22
指定可燃物貯蔵取扱い届出書	9
指定可燃物貯蔵取扱い廃止届出書	1
催物開催届出書	1
禁止行為解除承認申請書	5
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書	124
水道断水・減水届出書	60
道路工事届出書	338
露店等の開設届出書	98
指定洞道等届出書	0
火災予防上必要な業務に関する計画書(指定催し)	0

# 消 防 同 意 用 途 別 件 数

令和4年度

用 途		地 区	総 数	新 築	増 築	改 築	そ の 他
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 観 覧 場					
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	2	1	1		
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー					
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル					
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3	イ	待 合 ・ 料 理 店					
	ロ	飲 食 店					
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト		8	6	2		
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	1	1			
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	9	8	1		
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	3	3			
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 ・ 養 護 老 人 ホ ー ム	4	4			
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー ・ 保 育 所	3	3			
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校					
7	小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校		1	1			
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館						
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場					
	ロ	イ に 掲 げ る 以 外 の 公 衆 浴 場					
10	車 両 の 停 車 場						
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		1		1		
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	21	7	13		1
	ロ	映 画 ス タ ジ オ ・ テ レ ビ ス タ ジ オ					
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	3	1	2		
	ロ	格 納 庫					
14	倉 庫		20	3	16		1
15	前 項 に 該 当 し な い 事 業 所		32	20	12		
16	イ	特 定 防 火 対 象 物 の 存 在 複 合 用 途 の 防 火 対 象 物	3	2			1
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	3	3			
16-2	地 下 街						
16-3	準 地 下 街						
17	重 要 文 化 財 等						
18	延 長 50 メ ー ト ル 以 上 の ア ー ケ ー ド						
住 宅 等			62	47	15		
計			176	110	63		3



# 中 高 層 建 築 物 の 現 況

令和5年3月31日現在

用 途		階 数		棟 数	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階 以 上
		階	数								
1	イ	劇場・映画館・観覧場		1	1						
	ロ	公会堂・集会場									
2	イ	キャバレー・カフェー									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲食店		1		1					
4	百貨店・マーケット		1	1							
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		8		1	1	2	1		3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		219	141	57	6	1	5	2	7
6	イ	病院・診療所・助産所		5	3	1		1			
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム		3	3						
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所		2			2				
	ニ	幼稚園・特別支援学校									
7	小・中・高・大学 各種学校		23	18	3			1	1		
8	図書館・博物館・美術館										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									
10	車両の停車場										
11	神社・寺院・教会										
12	イ	工場・作業場		38	29	7		2			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	車庫・駐車場		4	3	1					
	ロ	格納庫									
14	倉庫		5	3	2						
15	前各項に該当しない事業場		33	18	9	3			2		1
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途の防火対象物		36	25	8		1			2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物		20	11	3	5				1
16-2	地下街										
16-3	準地下街										
17	重要文化財等										
18	延長50メートル以上のアーケード										
計			399	256	93	17	8	9	2	14	

## 危険物製造所等の地域別設置許可状況

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別 区分	総計	製造所	貯蔵所								取扱所			
			小計	屋内貯蔵所	貯屋外蔵タンク	貯屋内蔵タンク	貯地下蔵タンク	貯簡易蔵タンク	貯移動タンク	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	取第一種販売所	一般取扱所
計	984	37	664	217	202	11	107	5	70	52	283	91	0	192
磐田	438	5	282	86	70	4	64	3	45	10	151	51		100
福田	210	27	151	41	74	4	18		6	8	32	4		28
竜洋	104		73	38	10	1	14		10		31	12		19
豊田	162	5	118	31	43	1	5		4	34	39	15		24
豊岡	70		40	21	5	1	6	2	5		30	9		21

## 類別危険物製造所等の設置許可状況

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別 種別	総計	製造所	貯蔵所								取扱所			
			小計	屋内貯蔵所	貯屋外蔵タンク	貯屋内蔵タンク	貯地下蔵タンク	貯簡易蔵タンク	貯移動タンク	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	取第一種販売所	一般取扱所
計	984	37	664	217	202	11	107	5	70	52	283	91		192
単独	第1類													
	第2類	2		2	2									
	第3類	2		2	1	1								
	第4類	930	22	639	194	200	11	107	5	70	52	269	91	178
	第5類	4	1	3	3									
	第6類	1		1		1								
混在	45	14	17	17							14			14

## 数量別危険物製造所等の設置許可状況

(令和5年3月31日現在)

製造所等の別 区分	総 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	貯 屋 外 蔵 タ ン ク	貯 屋 内 蔵 タ ン ク	貯 地 下 蔵 タ ン ク	貯 簡 易 蔵 タ ン ク	貯 移 動 蔵 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	取 扱 種 別 所 売	一 般 取 扱 所
計	984	37	664	217	202	11	107	5	70	52	283	91		192
5 倍 以 下	276	3	190	82	28	4	33	4	36	3	83	4		79
5 倍 を 超 え 1 0 倍 以 下	195	4	122	48	26	5	15	1	6	21	69	9		60
1 0 倍 を 超 え 5 0 倍 以 下	285	14	201	52	71	2	35		14	27	70	34		36
5 0 倍 を 超 え 1 0 0 倍 以 下	95	11	67	14	28		11		14		17	8		9
1 0 0 倍 を 超 え 1 5 0 倍 以 下	42		34	13	12		8			1	8	6		2
1 5 0 倍 を 超 え 2 0 0 倍 以 下	19		12	4	7		1				7	5		2
2 0 0 倍 を 超 え 1, 0 0 0 倍 以 下	59	4	28	4	20		4				27	25		2
1, 0 0 0 倍 を 超 え 5, 0 0 0 倍 以 下	13	1	10		10						2			2

## 危険物製造所等の許可・完成検査状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

製造所等の別 区分		総 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	貯 屋 外 蔵 タ ン ク	貯 屋 内 蔵 タ ン ク	貯 地 下 蔵 タ ン ク	貯 簡 易 蔵 タ ン ク	貯 移 動 蔵 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	取 扱 種 別 所 売	一 般 取 扱 所
許 可	設置	13	1	8	2	2		3		1		4			4
	変更	176	31	18	3	10		4		1		127	9		118
完 検	設置	11		7	3			3		1		4			4
	変更	168	29	16	4	8		3		1		123	9		114

## 11 消 防 団

消 防 団 詰 所 配 置 図	66
消 防 団 員 配 置 表	67
非 常 備 消 防 車 両 一 覧 表	69

# 磐田市消防団詰所配置図



# 消 防 団 員 配 置 表

(令和5年4月1日現在)

分団別\階級別	団 長	副 団 長	本 部 長	副 長 本 部	分 団 長	副 長 分 団	班 長	団 員	計	定 数
本 部	1	3	28	35					67	73
女 性 隊								15	15	21
豊岡方面隊	第 1 分 団				1	1	6	20	28	50
	第 2 分 団				1	1	6	12	20	44
	第 3 分 団				1	1	6	23	31	50
	第 4 分 団				1	1	6	22	30	49
小 計	0	0	0	0	4	4	24	77	109	193
方磐 面田 隊原	第 1 分 団				1	1	6	16	24	50
	第 2 分 団				1	1	6	30	38	50
	第 3 分 団				1	1	6	16	24	45
小 計	0	0	0	0	3	3	18	62	86	145
豊田方面隊	第 1 分 団				1	1	6	36	44	50
	第 2 分 団				1	1	6	24	32	50
	第 3 分 団				1	1	6	25	33	50
	第 4 分 団				1	1	6	25	33	50
小 計	0	0	0	0	4	4	24	110	142	200
見付 方面 隊	第 1 分 団				1	1	6	19	27	45
	第 2 分 団				1	1	6	0	8	44
	第 3 分 団				1	1	6	9	17	44
	第 4 分 団				1	1	6	22	30	50
	第 5 分 団				1	1	6	7	15	35
小 計	0	0	0	0	5	5	30	57	97	218

# 消 防 団 員 配 置 表

(令和5年4月1日現在)

分団別\階級別		団 長	副 団 長	本 部 長	副 長 本 部	分 団 長	副 長 分 団	班 長	団 員	計	定 数
中 泉 方 面 隊	第 1 分 団					1	1	6	16	24	45
	第 2 分 団					1	1	6	15	23	44
	第 3 分 団					1	1	6	22	30	45
	第 4 分 団					1	1	6	14	22	45
小 計		0	0	0	0	4	4	24	67	99	179
竜 洋 方 面 隊	第 1 分 団					1	1	6	22	30	40
	第 2 分 団					1	1	6	24	32	40
	第 3 分 団					1	1	6	24	32	40
	第 4 分 団					1	1	6	23	31	40
小 計		0	0	0	0	4	4	24	93	125	160
福 田 方 面 隊	第 1 分 団					1	1	6	20	28	49
	第 2 分 団					1	1	6	23	31	50
	第 3 分 団					1	1	6	17	25	49
	第 4 分 団					1	1	6	9	17	30
小 計		0	0	0	0	4	4	24	69	101	178
合 計		1	3	28	35	28	28	168	550	841	1,367

# 消 防 団 車 両 一 覧 表

(令和5年4月1日現在)

種 別	所 属	登 録 番 号	車 名	年 式	ポンプ級別	ポンプ製 作 所	ポンプ形 式 (タービン)	排 気 量 (cc)
指 令 車	本部	浜松 800 さ 2886	トヨタ	H12				2,490
指 揮 車		浜松 800 す 6907	ニッサン	H29				2,480
積 載 車		浜松 800 す 4054	いすゞ	H24				2,990
人 員 搬 送 車		浜松 400 そ 7066	ニッサン	H16				1,490
災 害 用 二 輪 車		浜松 つ 6463	ヤマハ	H27				249
災 害 用 二 輪 車		浜松 つ 6464	ヤマハ	H27				249
災 害 用 二 輪 車		浜松 つ 6465	ヤマハ	H27				249
ポ ン プ 車	豊 岡 方 面 隊	第1分団 浜松 800 す 1537	いすゞ	H20	A-2	日本機械	2段	2,990
軽 積 載 車		第1分団 浜松 880 あ 1354	ダイハツ	R3				650
ポ ン プ 車		第2分団 浜松 800 さ 8565	いすゞ	H16	A-2	モリタ	2段	4,770
積 載 車		第2分団 浜松 800 さ 4097	三 菱	H12				2,830
ポ ン プ 車	豊 岡 方 面 隊	第3分団 浜松 800 さ 7573	トヨタ	H15	A-2	モリタ	2段	4,890
積 載 車		第3分団 浜松 800 す 6369	いすゞ	H28				2,990
ポ ン プ 車		第4分団 浜松 800 す 2966	いすゞ	H22	A-2	日本機械	2段	2,990
積 載 車		第4分団 浜松 800 さ 6681	三 菱	H15				2,830
ポ ン プ 車	磐 田 原 方 面 隊	第1分団 浜松 800 さ 7747	いすゞ	H16	A-2	畠山ポンプ	2段	4,770
多 機 能 車		第1分団 浜松 800 す 5839	トヨタ	H27				2,690
ポ ン プ 車		第2分団 浜松 800 さ 9721	いすゞ	H18	A-2	日本機械	2段	4,770
多 機 能 車		第2分団 浜松 800 す 9803	トヨタ	R4				2,690
ポ ン プ 車	磐 田 原 方 面 隊	第3分団 浜松 800 さ 6711	いすゞ	H15	A-2	日本機械	2段	4,770
多 機 能 車		第3分団 浜松 800 す 5840	トヨタ	H27				2,690
ポ ン プ 車		第1分団 浜松 800 す 5776	いすゞ	H27	A-2	日本機械	2段	2,990
積 載 車		第1分団 浜松 800 す 2312	いすゞ	H21				2,990
ポ ン プ 車	豊 岡 方 面 隊	第2分団 浜松 800 す 6355	いすゞ	H28	A-2	日本機械	2段	2,990
積 載 車		第2分団 浜松 800 す 5846	いすゞ	H27				2,990
ポ ン プ 車		第3分団 浜松 800 す 4761	いすゞ	H25	A-2	日本機械	2段	2,990
積 載 車		第3分団 浜松 800 す 5847	いすゞ	H27				2,990
ポ ン プ 車	豊 岡 方 面 隊	第4分団 浜松 800 す 9019	いすゞ	R2	A-2	日本機械	2段	2,990
積 載 車		第4分団 浜松 800 は 8	トヨタ	H15				2,980
ポ ン プ 車		第1分団 浜松 800 さ 4183	いすゞ	H13	A-2	畠山ポンプ	2段	4,570
積 載 車		第1分団 浜松 800 さ 834	トヨタ	H10				2,770
ポ ン プ 車	見 付 方 面 隊	第2分団 浜松 800 す 2314	いすゞ	H21	A-2	日本機械	2段	2,990
多 機 能 車		第2分団 浜松 800 せ 448	トヨタ	R5				2,690
ポ ン プ 車		第3分団 浜松 800 す 784	いすゞ	H19	A-2	日本機械	2段	4,770
積 載 車		第3分団 浜松 800 さ 6710	いすゞ	H15				4,770
ポ ン プ 車	見 付 方 面 隊	第4分団 浜松 800 さ 8643	いすゞ	H17	A-2	日本機械	2段	4,770
多 機 能 車		第4分団 浜松 800 す 5838	トヨタ	H27				2,690
ポ ン プ 車		第5分団 浜松 800 す 782	いすゞ	H19	A-2	日本機械	2段	4,770



# 消 防 団 車 両 一 覧 表

(令和5年4月1日現在)

種 別	所 属	登 録 番 号	車 名	年 式	ポンプ級別	ポンプ製作所	ポンプ形 (タービン)	排気量 (cc)
ポンプ積載 ポンプ積載 多機能ポンプ積載	中 泉 方 面 隊	第1分団	浜松 800 さ 5418	いすゞ H13	A-2	畠山ポンプ	2段	4,570
			浜松 800 さ 2350	三菱 H11				2,830
		第2分団	浜松 800 す 4125	いすゞ H24	A-2	小川ポンプ	2段	2,990
			浜松 800 さ 2308	いすゞ H11				4,570
		第3分団	浜松 800 さ 4184	いすゞ H13	A-2	畠山ポンプ	2段	4,570
			浜松 800 す 6860	トヨタ H29				2,690
		第4分団	浜松 800 さ 5417	いすゞ H13	A-2	畠山ポンプ	2段	4,570
			浜松 800 ね 1	日野 H12				4,890
多機能ポンプ積載 多機能ポンプ積載	竜 洋 方 面 隊	第1分団	浜松 800 せ 2	日野 H17	A-2	日本機械	2段	4,000
			浜松 800 せ 450	トヨタ R5				2,690
		第2分団	浜松 800 す 1538	いすゞ H20	A-2	日本機械	2段	2,990
			浜松 880 あ 739	スズキ H25				650
		第3分団	浜松 800 す 5	三菱 H14	A-2	モリタ	2段	5,240
			浜松 800 す 9804	トヨタ R4				2,690
		第4分団	浜松 800 た 3	日野 H17	A-2	日本機械	2段	4,000
			浜松 800 す 7988	トヨタ H31				2,690
多機能ポンプ積載 多機能ポンプ積載	福 田 方 面 隊	第1分団	浜松 800 す 2313	いすゞ H21	A-2	日本機械	2段	2,990
			浜松 800 す 6352	トヨタ H28				2,690
		第2分団	浜松 800 す 783	いすゞ H19	A-2	日本機械	2段	4,770
			浜松 800 さ 2226	いすゞ H11				4,570
		第3分団	浜松 800 さ 9722	いすゞ H18	A-2	日本機械	2段	4,770
			浜松 800 さ 6536	いすゞ H14				4,770
		第4分団	浜松 800 さ 9723	いすゞ H18	A-2	日本機械	2段	4,770
			浜松 800 さ 8490	いすゞ H16				4,770

## 12 全国統一防火標語

## 全国統一防火標語

第 1 回	(昭和 41 年度)	火の始末 人にたのむな 任せるな
第 2 回	(昭和 42 年度)	さあねよう アッそのまえに 火の点けん
第 3 回	(昭和 43 年度)	あなたは火事の恐ろしさを知らない
第 4 回	(昭和 44 年度)	今捨てたタバコの温度が700度
第 5 回	(昭和 45 年度)	防火 三百六十五日
第 6 回	(昭和 46 年度)	火を使う 人ならできる 火の始末
第 7 回	(昭和 47 年度)	慣れた火に新たな注意
第 8 回	(昭和 48 年度)	隣にも 声かけあって よい防火
第 9 回	(昭和 49 年度)	生活の 一部にしよう 火の点検
第 10 回	(昭和 50 年度)	幸せを 明日につなぐ 火の始末
第 11 回	(昭和 51 年度)	火災は人災 防ぐはあなた!
第 12 回	(昭和 52 年度)	使う火を 消すまで離すな 目と心
第 13 回	(昭和 53 年度)	それぞれの 持場で生かせ 火の用心
第 14 回	(昭和 54 年度)	これくらいと 思う油断を 火が狙う!
第 15 回	(昭和 55 年度)	あなたです 火事を出すのも 防ぐのも
第 16 回	(昭和 56 年度)	毎日が 防火デーです ぼくの家
第 17 回	(昭和 57 年度)	火の用心 心で用心 目で用心
第 18 回	(昭和 58 年度)	点検は 防火のはじまり しめくくり
第 19 回	(昭和 59 年度)	“あとで”より“いま”が大切火の始末
第 20 回	(昭和 60 年度)	怖いのは“消したつもり”と“消したはず”
第 21 回	(昭和 61 年度)	防火の大役 あなたが主役
第 22 回	(昭和 62 年度)	消えたかな! 気になるあの火 もう一度
第 23 回	(昭和 63 年度)	その火 その時 すぐ始末!
第 24 回	(平成 元 年度)	おとなりに あげる安心 火の始末
第 25 回	(平成 2 年度)	まず消そう 火への鈍感 無関心
第 26 回	(平成 3 年度)	毎日が火元警報発令中
第 27 回	(平成 4 年度)	点検を重ねて築く“火災ゼロ”
第 28 回	(平成 5 年度)	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
第 29 回	(平成 6 年度)	安心の 暮らしの中心 火の用心
第 30 回	(平成 7 年度)	災害に 備えて日頃の 火の用心
第 31 回	(平成 8 年度)	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
第 32 回	(平成 9 年度)	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
第 33 回	(平成 10 年度)	気をつけて はじめはすべて 小さな火
第 34 回	(平成 11 年度)	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
第 35 回	(平成 12 年度)	火をつけた あなたの責任 最後まで
第 36 回	(平成 13 年度)	たしかめて。火を消してから次のこと
第 37 回	(平成 14 年度)	消す心 置いてください 火のそばに
第 38 回	(平成 15 年度)	その油断 火から炎へ 災いへ
第 39 回	(平成 16 年度)	火は消した? いつも心に きいてみて
第 40 回	(平成 17 年度)	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
第 41 回	(平成 18 年度)	消さないで あなたの心の 注意の火。
第 42 回	(平成 19 年度)	火は見てる あなたが離れる その時を
第 43 回	(平成 20 年度)	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
第 44 回	(平成 21 年度)	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
第 45 回	(平成 22 年度)	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
第 46 回	(平成 23 年度)	消したはず 決めつけしないで もう一度
第 47 回	(平成 24 年度)	消すまでは 出ない行かない 離れない
第 48 回	(平成 25 年度)	消すまでは 心の警報 ONのまま
第 49 回	(平成 26 年度)	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
第 50 回	(平成 27 年度)	無防備な 心に火災が かくれんぼ

第 51 回	(平成 28 年度)	消しましょう	その火その時	その場所で
第 52 回	(平成 29 年度)	火の用心	ことばを形に	習慣に
第 53 回	(平成 30 年度)	忘れてない?	サイフにスマホに	火の確認
第 54 回	(令和 元 年度)	ひとつずつ	いいね!	で確認 火の用心
第 55 回	(令和 2 年度)	その火事を	防ぐあなたに	金メダル
第 56 回	(令和 3 年度)	おうち時間	家族で点検	火の始末
第 57 回	(令和 4 年度)	お出かけは	マスク戸締り	火の用心
第 58 回	(令和 5 年度)	火を消して	不安を消して	つなぐ未来

令和4年版

**消 防 年 報 <第54号>**

令和5年6月

編集 磐田市消防本部消防総務課

〒437-1292 静岡県磐田市福田400番地

TEL <0538>59-1119